

## 決算審査特別委員会会議録

1. 日 時 平成22年9月29日(水)  
午前9時30分～午後3時44分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 徳並伍朗 委員長 高木法生 副委員長  
安富法明 委員 南口彰夫 委員  
河村 淳 委員 村上健二 委員  
原田 茂 委員 山本昌二 委員  
田邊 諄祐 委員 柴崎修一郎 委員  
荒山光広 委員 西岡 晃 委員  
河本芳久 委員 下井克己 委員  
岩本明央 委員 山中佳子 委員  
三好睦子 委員 萬代泰夫 委員  
有道典広 委員 岡山 隆 委員  
馬屋原 眞一 委員 竹岡昌治 議員  
秋山哲朗 議長 布施文子 副議長
4. 欠席委員 大中 宏 委員 佐々木 隆義 委員
5. 出席した事務局職員  
重村 暢之 局長 岩崎 敏行 係 長  
岡崎 基代 係 長
6. 説明のため出席した者の職氏名  
林 繁美 副市長 波佐間 敏 総務部長  
田 辺 剛 総合政策部長 福田 和司 総務部次長  
倉 重 郁二 総務部財政課長 川 島 茂 総務部税務課長  
藤 井 勝巳 美東総合支所長 杉 本 伊佐雄 秋芳総合支所長  
奥 田 源良 総合政策部企画政策課長 末 岡 竜夫 総合政策部地域情報課長  
久 保 宏二 総務部監理課長 内 藤 賢治 総務部国体推進課長

平 田 耕 一	美東総合支所総務課長	桑 原 章 光	秋芳総合支所総務課長
矢田部 繁 範	建設経済部建設課長	山 田 悦 子	市民福祉部長
古 屋 勝 美	市民福祉部次長	杉 原 功 一	市民福祉部市民課長
久 保 毅	会計管理者	西 山 宏 史	監査事務局長
白 井 栄 次	市民福祉部高齢福祉課長	田 代 裕 司	市民福祉部地域福祉課長
佐々木 郁 夫	市民福祉部生活環境課長	堀 洋 数	美東総合支所市民福祉課長
竹 澤 茂	秋芳総合支所市民福祉課長	伊 藤 康 文	建設経済部長
斉 藤 寛	建設経済部次長	秋 枝 秀 稔	建設経済部農林課長
山 本 勉	総合観光部長	松 野 哲 治	総合政策部商工労働課長
前 野 兼 治	美東総合支所建設経済課長	秋 山 芳 幸	秋芳総合支所建設経済課長
綿 谷 敦 朗	総合観光部観光総務課長	西 田 良 平	総合観光部観光振興課長
永 富 康 文	教 育 長	金 子 彰	教育委員会事務局長
石 田 淳 司	教育委員会事務局次長	松 本 孝 志	教育委員会学校教育課長
坂 田 文 和	消 防 長	田 畑 龍 男	消防本部次長
古 屋 安 生	農業委員会事務局長	佐 藤 和 美	教育委員会社会教育課長
高 橋 文 雄	教育委員会文化財保護課長	篠 田 尊	教育委員会体育振興課長
西 岡 博 和	消防本部総務課長	柴 崎 隆 博	消防本部予防課長

午前9時30分開会

委員長（徳並伍朗君） おはようございます。只今より決算審査特別委員会を開催いたします。委員の皆さまはじめ、執行部並びに監査委員の皆さまには円滑な委員会運営にご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。また、秋山議長、布施副議長、竹岡監査委員には、オブザーバーとしてご協力をよろしくお願いをいたします。それでは、先の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案10件につきまして、審査いたしたいと思っております。なお、審査の日程でございますが本日は美祢市一般会計、明日9月30日には全特別会計、明後日10月1日を予備日とし、3日間で、会計ごとに審査を進めてまいりたいと思っております。また、一般会計決算、特別会計決算の説明・質疑がすべて終了した後、村田市長に出席を願い、総括審議を行います。なお、本日の審査の進め方でございますが、一般会計の決算の説明にあたっては、歳出の款ごとの審査といたしますが、款によっては所管部局が多数となるため、それぞれの部局からの説明をよろしくお願ひいたします。それでは、林副市長さん、報告等ございませんか。

副市長（林 繁美君） ございません。よろしくお願ひいたします。

委員長（徳並伍朗君） それでは、これより審査を始めます。議案第17号平成21年度美祢市一般会計決算の認定についてを審査いたします。なお、決算の説明にあたっては、歳入では、収入未済額の大きなもの、歳出では、主要事業、未執行の事業及び不用額の大きなものについて、ご説明をいただきたいと思っております。それでは、最初に執行部より、一般会計の総括的な説明を求めます。倉重財政課長。

総務部財政課長（倉重郁二君） それでは、決算特別委員会に付託されております議案第17号平成21年度美祢市一般会計決算についてご説明をいたします。お手元に配付しております平成21年度予算執行実績報告書のほうをお出しいただきたいと思っております。こちらに沿って概要をご説明させていただきます。それでは、実績報告書の2ページをお開き下さい。財政規模及び財政収支の状況に關します表をご覧いただきたいと思っております。平成21年度一般会計の決算規模でございますが、歳入総額はA欄になりますが、184億4,817万9,000円で、前年度の172億1,961万8,000円に対しまして、12億2,856万1,000円、率にいたしまして、7.1%の増となったところであります。次に歳出の総額ですがB欄でございます。176億9,075万円で、前年度の160億997万7,000円に比べまして、16億8,077万3,000円、率にいたしまして、1

0.5%の増となったところであります。この結果その下にございますが、形式収支であります、歳入歳出差引額C欄は7億5,742万9,000円となりましたが、この中には地域活性化臨時交付金事業や、災害復旧事業などの繰越明許費として翌年度へ繰り越すべき財源2億609万1,000円を含んでおりますことから、これを差し引きました平成21年度の実質収支は5億5,133万8,000円の黒字となったところであります。また、今年度の収入には前年度の実質収支の繰越金として、引き継がれておりますので今年度の実質収支から前年度の実質収支額6億8,875万5,000円を差し引きました平成21年度の単年度収支につきましては、1億3,741万7,000円のマイナスとなったところであります。次に単年度収支には基金への積み立てや取り崩し、市債の繰上償還など赤字要素、黒字要素が含まれておりますことから、これらを控除したものが実質単年度収支になります。一番下の実質単年度収支につきましては、1億2,636万3,000円のマイナスとなったところであります。なお、ここで言います積立金とは、財政調整基金のみを指してのものとございます。以上が平成21年度の決算におけます財政規模及び財政収支の状況でございます。それでは、次に歳出の状況についてご説明を申し上げます。10ページをお開き下さい。最下段の合計でございますが、平成21年度の予算額は当初予算では157億3,700万円であったものが、その後の地域活性化臨時交付金事業や災害復旧経費などの補正予算及び前年度からの繰越明許費などの予算額を合わせますと最終予算額は、歳入歳出とも200億6,200万8,000円となったところであります。これに対しまして、歳入決算総額が176億9,075万円となり、88.2%の執行率となっております。なお、これにつきましては、先程、繰越のところでご説明させていただきましたが、地域活性化臨時交付金事業や災害復旧事業などの繰越明許費として、18億4,513万1,000円を歳出予算として22年度に繰越をしております関係上、これを考慮いたしますと執行率は97.1%となるものでございます。また、対前年度と比較いたしますと16億8,077万3,000円、10.5%の増となったものですが、増の主な要因といたしましては、定額給付金給付事業や地域情報通信基盤整備推進事業、地域住宅交付金事業、また平成21年7月中国九州北部豪雨災害に伴う災害復旧事業費の増加、平成21年度におきまして減債基金や、ゆたかなまちづくり基金へ積み立てを行ったことによりまして、増となったところでございます。次に決算額を目的別構成比で見まして大きなものから申し上げます

と、総務費が37億9,175万6,000円で構成比が21.4%、民生費が34億9,788万2,000円、率にして19.8%、公債費が26億7,462万7,000円、率にして15.1%、衛生費が18億5,893万1,000円、10.5%、土木費が17億1,392万5,000円、率にして9.7%、農林費が13億3,872万1,000円、率にして7.6%、教育費が13億2,556万1,000円、率にして7.5%となっておりでございます。次に主な増減の理由についてご説明をさせていただきます。対前年度比較欄の一番右側の欄の増減率でございますが、増加の主なものにつきましてご説明を申し上げます。まず、総務費では定額給付金給付事業や地域情報通信基盤整備推進事業基金への積み立てなどによりまして、7億1,217万6,000円、23.1%の増となっております。次に衛生費が病院等事業会計への繰出金の増加などによりまして2億8,195万6,000円17.9%の増、労働費では緊急雇用創出事業などで、846万5,000円、19.9%の増、土木費が地域住宅交付金事業の実施などにより、2億2,383万4,000円、15%の増、また平成21年7月豪雨災害に伴います災害復旧事業費によりましては、3億7,509万1,000円、率にして4,291.2%の増となっております。次に減少した主なものでございますが、竹材資源活用事業施設整備の完成に伴います商工費で1億9,422万4,000円、率にして42.7%の減となったところでございます。公債費は1億7,509万1,000円、率にして6.1%の減となっておりますが、これは平成19年度から始まりました旧資金運用部等の公的資金保証金免除繰上償還の借換額が平成20年度2億8,280万円に達しまして、平成21年度は1億2,300万円と減少したことによるものでございます。続きまして、性質別歳出決算についてご説明をさせていただきます。11ページの性質別歳出の前年度比較表をご覧くださいと思います。表の一番上でございますが、消費的経費につきましては、決算額は103億8,879万4,000円で構成比58.7%、対前年度比較は8億995万1,000円、8.5%の増となっております。次に投資的経費は、25億8,181万1,000円、構成比14.6%、対前年度比較は5億9,380万3,000円、29.9%の増となっております。公債費は先ほど説明いたしましたとおりでございますが、26億7,462万7,000円、構成比15.1%、対前年度比較は1億7,509万1,000円、前年度6.1%の減となっております。その他につきましては、決算額は20億4,551万8,000

0円で構成比11.6%、対前年度比較は、4億5,211万円、28.4%の増となっております。その内訳といたしましては、積立金が5億7,997万8,000円、構成比3.3%、3億5,733万9,000円、160.5%の増となっております。また繰出金が14億859万円、構成比8.0%、対前年度比較は6,204万9,000円4.6%の増となっております。次に個別の構成比では人件費が36億7,040万2,000円、構成比で20.8%、補助費等が30億6,456万4,000円で17.3%、公債費が26億7,462万7,000円で15.1%、普通建設事業費が22億1,085万3,000円で12.5%の増となっております。前年度の歳出に対しまして増減の主なものについてご説明を申し上げます。まず、消費的経費の人件費であります。退職者の増加により退職金は増加いたしましたものの職員数の減少により人件費全体では7,441万7,000円、率にいたしまして2%の減となりました。扶助費では障害者自立支援給付扶助の増などによりまして、9,494万3,000円、率にして6.3%の増、補助費等におきましては、7億5,938万1,000円、率にして32.9%の増となっております。この主な要因でございますが、定額給付金給付事業や病院等事業会計への繰出金の増などによるものでございます。次に普通建設事業費では、前年度に実施いたしました有線テレビ高度情報化整備事業や竹材資源活用事業施設整備事業は終了いたしました。新たに地域情報通信基盤整備推進事業や地域住宅交付金事業などの実施によりまして2億3,184万4,000円、11.7%の増となったところであります。災害復旧費は先程ご説明したとおりで、21年7月の豪雨災害に伴いまして、3億6,195万9,000円、率にして4,022.2%の増となったところであります。公債費につきましては、先程説明したとおりでございます。その他の中の積立金ですけど、3億5,733万9,000円、率にして160.5%の増となっております。基金預金利子の積み立てのほかに減債基金に2億5,000万円、ゆたかなまちづくり基金に3億2,347万6,000円、ふるさと美祢応援基金に156万8,000円をそれぞれ積み立てたことによるものでございます。投資及び出資金の2,070万円、222.6%の増につきましては病院等事業会計出資金の増によるものであります。貸付金では中小企業制度融資預託金の増加によりまして1,202万2,000円、80.5%の増となりました。最後に繰出金ですが、6,204万9,000円、4.6%の増となっております。なお、これの内訳につきましては、18ペ

ージに掲載しておりますのでご覧いただきたいと思ひます。以上が歳出の概要でございます。

それでは、続きまして歳入の状況につきましてご説明させていただきたいと思ひます。3ページにお戻りいただきたいと思ひます。歳入内訳別対前年度比較表をご覧くださいただけたらと思ひます。平成21年度決算額は最下段の合計欄ですけど、184億4,817万9,000円で対前年度に比べ12億2,856万1,000円、率にしまして7.1%の増となっております。歳入決算額を構成比別に見ますと依存財源の主なものにつきましては、中段部分にございます地方交付税で74億271万6,000円で歳入総額の40.1%を占めております。続いて国庫支出金が18億8,005万3,000円で構成比10.2%、県支出金が13億4,992万4,000円、7.3%、市債15億8,890万円、構成比8.6%となっております、依存財源の合計は128億9,765万3,000円となり構成比69.9%、前年度の構成比に比べまして3.2ポイントの減となったものでございます。続いて、自主財源でございますが、市税が34億1,336万6,000円、構成比18.5%、繰越金12億964万2,000円、構成比6.6%となっております、このことによりまして自主財源の合計は55億5,052万6,000円となり、構成比率は30.1%で前年度の構成比に比べまして3.2ポイントの増となったものでございます。増の要因といたしましては、繰越金が大きく増加したことによるもので、自主財源として主要であります市税は減少しているという状況であります。次に主な増減についてであります、前年度を比較して増減率が大きいものにつきましてご説明いたします。まず地方特例交付金ですが、1,886万3,000円、率にして60.4%の増となっております。これはエコカー減税の実施によりまして、自動車取得税交付金の減収分の一部を補てんされることによる増でございます。続いて国庫支出金では、地域活性化臨時交付金や地域情報通信基盤整備推進交付金、土木施設災害復旧事業負担金などによりまして3億7,944万3,000円、率にいたしまして25.3%の増となっております。県支出金は畜産基盤再編総合整備事業補助金や農林施設災害復旧事業補助金などによりまして1億871万2,000円、率にいたしまして8.8%の増、財産収入が土地の売り払い収入増により471万9,000円、22.9%の増、繰入金につきましては前年度に国の補正予算によりまして地域活性化臨時交付金の一部をゆたかなまちづくり基金へ積み立てをしたものを、事業実施に伴いまして平成21

年度に取り崩しをしたことによる増で1億3,125万4,000円の増となったものですが、平成21年度におきましてはその他財政運営上での基金の取り崩しは行っておりません。繰越金につきましては、準繰越金の6億8,875万6,000円と定額給付金事業や地域活性化臨時交付金事業など前年度からの繰越事業にかかります財源が5億2,088万6,000円ありましたので、合わせまして対前年度8億9,014万9,000円、率にいたしまして278.6%の増となったものであります。続きまして、減少率の大きいものですが、先程説明いたしましたエコカー減税の実施に伴いまして自動車取得税交付金が3,416万8,000円、率にして31.1%の減となっております。市債につきましては3億3,430万円、17.4%の減となっておりますが、歳出の公債費でご説明いたしました繰上償還にかかります借換債の減などによるものでございます。次に市税の状況につきまして概要を説明いたします。実績報告書の6ページをお開き願いたいと思います。平成21年度の市税の決算額でございますが、一番下の欄の真ん中でございますが、34億1,336万6,000円でございます。収入総額の18.5%、自主財源の61.5%を占めております。厳しい経済情勢や雇用関係の悪化等によりまして前年度決算額の34億9,296万円に比べまして7,959万4,000円、率にして2.3%の減となっております。個別には1の市民税ですが、調定額が13億3,555万6,000円に対しまして決算額12億9,112万円で徴収率が96.7%、対前年度5,924万1,000円、4.4%の減でございます。次に2の固定資産税では調定額19億4,879万8,000円に対しまして、決算額17億2,718万9,000円で徴収率が88.6%、対前年度57万4,000円の減となったところであります。その他につきましては以下のとおりとなっておりますのでご覧いただきたいと思います。また、市税の構成比を見ますと、固定資産税50.6%、市民税37.8%、市たばこ税4.4%、都市計画税3.2%の順となっております。なお、市税の現年分、滞納繰越分のそれぞれの収納条件につきましては、監査委員の意見報告書、緑の縁の分ですが、平成21年度美祿市各会計歳入歳出決算書及び基金運用状況審査意見書の43、44ページに掲載されておりますので、またご覧いただけたらというふうに思います。以上が市税の概要についてでございます。続きまして、積立金の状況につきましてご説明をいたします。先程の実績報告書の17ページをお開き願いたいと思います。基金の状況の表をご覧ください。平成21年度決算額に基づきます平成21年

度末の基金残高の総額は右側の一番下でございますが、平成21年度末現在高の合計ですが30億8,506万2,000円となりました。前年度末の総額が26億3,488万6,000円でしたので、4億5,017万6,000円の増となっております。次に市債の状況についてご説明いたします。20ページをお開き願いたいと思います。平成21年度末市債未償還元金の総額でございますが、一番下の右側でございますが180億6,067万6,000円となっております。前年度末の総額が188億2,323万3,000円でありましたので、7億6,255万7,000円、4.1%の減となっております。未償還元金の内訳でございますが、普通債が114億9,344万9,000円、災害復旧債が1億3,134万8,000円、その他では臨時財政対策債が46億7,101万7,000円、退職手当債10億8,034万1,000円などとなっております。以上が平成21年度美祢市一般会計決算概要についてでございますが、引き続きまして、各担当課長より平成21年度の主要事業施策等につきましてご説明を申し上げますので、よろしくお願ひしたいと思います。私からの説明は以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 倉重財政課長より、一般会計の総括的な説明をいただきましたが、これからは一般会計の個別事業について説明を求めます。まず、議会費を議題といたします。執行部より説明を求めます。重村議会事務局長。

議会事務局長（重村暢之君） それでは、同じく予算執行実績報告書の34ページから説明をいたします。平成21年度一般会計主要施策実施状況でございます。まず款議会費・項議会費・目議会費ですが、主な事業といたしまして、当議事堂の放送設備改修工事278万3,000円、議会車購入費624万円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） それでは、説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。それでは、次に総務費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、福田総務部次長。

総務部次長（福田和志君） それでは、引き続きまして総務費の主な事業等につきまして、ご説明いたします。同じく34ページの総務費をお開き下さい。項総務管理費・目一般管理費であります。1といたしまして行政手続整備支援業務委託料92万円を支出しております。これは新市におきまして、市が行います許認可また

は不利益処分にかかります審査基準、標準処分期間、処分基準等早期に整備する必要がございましたことから、データの作成及び職員を対象といたしました行政手続研修などの美祿市行政手続整備支援業務を委託したものでございます。次に2として公共施設地上デジタル対応テレビ備品購入費123万6,000円を支出しております。これは平成21年度の交付のありました地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用いたしまして、市役所本庁舎及び総合支所・市保健センター等の市関係施設に防災情報等収集のための公共施設デジタル化事業として、地上デジタル対応テレビ24台を購入したものでございます。次に3の職員研修関連経費といたしまして16万5,000円を支出しております。これは山口県自治研修所で実施されます各役職ごとの一般研修及び各分野ごとの特別研修を合わせ、39講座に123名を研修に参加させております。その他に市独自の研修として、新規採用職員研修ならびに市町村アカデミーへの専門的な研修を実施しております。続きまして4の防災訓練関連経費として、14万2,000円を支出しております。昨年9月13日、美東保健センター及びその周辺におきまして、地震災害を想定いたしました大田地区総合防災訓練を375人の参加により実施をいたしております。次に5のマイクロバス運転業務委託として183万8,000円を支出しております。これは庁用車の運転業務を委託し実施したものでございます。次に6の庁用車備品購入費として1,618万4,000円を支出しております。これは地域活性化経済危機対策臨時交付金の事業に基づきまして低公害車等導入促進事業を活用いたしまして、市マイクロバスをはじめとします庁用車を5台購入したものでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 7番の男女共同参画推進事業でございますが、これは男女共同参画推進に伴う啓発活動、それと審議会の委員報酬が主なものでございまして、45万1,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（奥田源良君） 8番日中友好業務委託料でございますが、これは中国山東省棗莊市を招致いたしまして、新たな友好都市協定を締結した事業でございます。9番の合併1周年記念事業といたしまして97万円を執行いたしております。これは合併1周年を節目に合併功労者の表彰、市の花木、市民憲章等の披露をしております。10番の定額給付金給付事業につきましては、2月1日の住民票に住民登録されておる方、あるいは外国人登録をされた方に対しまして1

人あたり1万2,000円、65歳以上の方または18歳以下の方につきましては2万円を支出した事業でございます。4億7,414万2,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 11番の電算管理経費でございますが、庁内の電算システムの保守委託料が主なものでございまして1億1,427万9,000円を支出しております。続きまして、目文書広報費でございますが、1番の広報「みね」の発行毎月2回発行と書いてありますが、広報の作成経費でございます。主には印刷製本費でございます。1,013万9,000円を支出しております。2番のホームページ関連経費でございますが、ホームページ用のサーバーの機器保守委託料でございます。16万8,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（奥田源良君） 企画費になりますが、1番の総合計画策定業務委託料につきましては、昨年ご承認いただきました総合計画につきまして作成の委託料でございます。441万円を支出しております。2番ハッピーウエディング支援業務委託料につきましては、これは市内の若者、男女に出会いの場を創出するという事業でございます。50万円を支出しております。3番十文字原総合開発事業用地活用調査業務委託料につきましては、土地開発公社が処理しております十文字原の土地約60ヘクタールについての活用方法の計画を作っております。4番の市章デザインマニュアル変更業務につきましては、市章につきまして交流拠点都市の文字を組み合わせたものを委託して作成しております。これに8万2,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 続きまして、5番の生活バス路線対策事業でございますが、これは市内を走っておりますバス事業者6事業者に対しまして乗り合いバスの支援事業の補助金を支出したものでございます。1億552万円を支出しております。6番の告知放送運営費でございますが、これは美東地域におきます各家庭にある告知放送、これの主には機器借上料といたしまして812万2,000円を支出しております。7番の情報通信システム管理費これは秋芳地域情報通信施設、いわゆる秋芳有線でございますが、ここの管理料でございます。109万7,000円を支出しております。8番の美祢有線テレビ放送管理運営業務でござ

ざいますが、MYTの指定管理委託料、それと美祢地域におきまして、光ファイバーケーブルを敷設したことによりまして不用となりました同軸ケーブル、これの施設撤去工事費が主なものでございまして、2億4,074万9,000円を支出しております。35ページにまいりまして、9番コミュニティ活動推進事業でございしますが、これは主には区長報酬でございまして、3,101万円を支出いたしております。10番の地域情報通信基盤整備推進事業でございしますが、これは事業主体が山口ケーブルビジョンでございました秋芳地域への光ファイバーケーブルの敷設事業でございまして、これに対する補助金が主なものでございまして3億7,971万1,000円を支出しております。11番の地域公共交通活性化・再生総合事業でございしますが、これはミニバスの運行をしております地域公共交通協議会への負担金が主なもので407万1,000円を支出しております。12番のサインシステム整備事業でございしますが、これはサインシステム整備マニュアル等の作成に要した業務委託費として787万5,000円を支出しております。13番のケーブルテレビ加入促進事業でございしますが、これはケーブルテレビの各家庭の加入負担金の補助金でございまして15万6,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、桑原秋芳総合支所総務課長。

秋芳総合支所総務課長（桑原章光君） 続きまして、支所及び出張所費でございまして、1番の宿日直業務委託料でございしますが、美東・秋芳両支所分として475万5,000円を支出しております。2の運転業務委託料（マイクロバス運転業務委託料）として、579万7,000円でございます。続きまして、3の施設整備工事でございますが、秋芳総合支所の玄関スロープ工事及び車庫防水工事と庁舎改修工事として377万円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、福田総務部次長。

総務部次長（福田和志君） 続きまして、目交通安全対策費でございます。1として交通災害共済の状況についての表を事業としてあげておりますが、これは21年度より市町総合事務組合の共同処理とされます交通災害共済の取りまとめ事務を行っております、加入状況及び給付状況につきましては実績報告書のとおりでございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 2といたしまして、交通安全施設整備事業でございしますが、区画線を6,845m、車線分離標、道路反射鏡、ガードレール

転落防止柵、視線誘導標などで664万7,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（奥田源良君） 活性化対策費でございます。1番の秋吉台フェアin東京実施事業補助でございますが、これは美祢市の発信に意欲的な団体の支援をする事業でございます。団体が実施する地域発信活動へ補助金を交付するものでございます。補助率は事業費の2分の1以内でございます。2番の美祢市土地開発公社事業費補助金でございますが、これは土地開発公社が宅地を販売しております低廉な宅地販売のために補助金を支出にするつもりでございます。4,010万円を支出しております。3番のふるさと美祢応援寄付金積立金でございます。これはいわゆるふるさと納税でございます。この寄付をいただいた金額を積み立てたもので156万8,000円となっております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 続きまして、4番の地域活性化対策事業でございます。これは、主に自治宝くじの助成金の事業でございます。市内2団体に対して補助金を支出しております。支出額は581万8,000円でございます。6番の豊田前地区活性化対策事業でございますが、これは美祢社会復帰促進センター周辺の防犯灯の電気代、それと21年度におきまして防犯灯を2基増設いたしました施設整備工事費、これが主なもので109万7,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、内藤国体推進課長。

総務部国体推進課長（内藤賢治君） 続きまして、目国民体育大会費でございます。1番目といたしまして自転車ロードレース交通規制看板作成購入費といたしまして240万5,000円、2番目といたしまして、自転車ロードレース競技施設整備等計画書作成業務委託料といたしまして223万7,000円、3番目といたしまして、おいでませ！山口国体美祢市実行委員会運営費補助といたしまして277万2,000円を支出しております。続きまして、不用額といたしまして歳入歳出決算書の46ページ、47ページをお開き下さい。47ページの中段中程に需用費といたしまして264万2,160円の不用額が出ておりますけれども、これにつきましては、交通規制看板作成にかかる入札残でございます。これは看板を立てる位置、枚数、警察との協議等に時間を要しまして、2月の入札となったために3月補正で減額補正が出来ず不用額となったものでございます。以上ございま

す。

委員長（徳並伍朗君） はい、杉原市民課長。

市民福祉部市民課長（杉原功一君） 36ページをお開き下さい。項戸籍住民基本台帳費・目戸籍住民基本台帳費でございます。戸籍総合システムにかかる経費といたしまして1,235万4,000円を支出しております。内訳といたしまして、戸籍総合システム・ブックレス保守委託料といたしまして226万8,000円、戸籍総合システム借上料といたしまして781万7,664円、戸籍総合システムソフト使用料といたしまして226万8,000円となっております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、福田選挙管理委員会事務局長。

選挙管理委員会事務局長（福田和志君） それでは選挙費・選挙管理委員会費について説明をさせていただきます。憲法改正の国民投票に係る投票人名簿システム構築事業といたしまして、21年度、22年度2ヶ年事業として実施をいたしており、21年度分として243万円を支出しております。次に衆議院議員選挙費でございますが、平成21年8月30日執行の第45回衆議院議員総選挙並びに最高裁判所裁判官国民審査といたしまして2,996万1,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 項統計調査費・目指定統計調査費でございますが、これは農林業センサス調査ほかと書いてございますが、その他学校基本調査、工業統計調査、全国消費実態調査、経済センサス、計5種類の調査をしております。主に調査員の報酬でございますが756万9,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、倉重財政課長。

総務部財政課長（倉重郁二君） 総務費の一番最後になります監査委員費でございます。地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づきまして実施いたしました観光事業特別会計にかかります個別外部監査委託料といたしまして420万円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） はい、川島税務課長。

総務部税務課長（川島 茂君） それでは歳入の市税の概要についてご説明させていただきますと思います。予算執行実績報告書の6ページをお開き願いたいと思

ます。これにつきまして、先程、財政課長の方からあらかじめ説明がございまして一部重複するというふうに思いますけれどもよろしくお願い申し上げます。6ページの大きな表の一番下の合計欄の中程でございますが、本年度の決算額34億1,336万6,000円でございます。これも先程報告にありましたように歳入総額の18.5%、自主財源の61.5%を占めております。なお前年度決算額34億9,296万円に対しまして7,959万4,000円、率にして2.3%、総額で減となっておりますところでございます。また、税別につきましては区分1の市民税につきましては調定額の13億3,555万6,000円、決算額12億9,112万円、徴収率96.7%は前年と同率でございますが、5,924万1,000円の減となっております。次に2固定資産税でございますけれども、調定額19億4,879万8,000円、決算額が17億2,718万9,000円でございます。これにつきまして徴収率が88.6%、徴収率は前年度対比で0.9%増となっておりますけれども、57万4,000円の減ということでございます。続きまして、3番の軽自動車税でございますが、調定額が8,620万円、決算額が8,096万2,000円、徴収率93.9%、これにつきましては前年度対比0.3%の増ということでございます。74万3,000円の増でございます。4の市たばこ税でございますけれども、調定額が1億5,171万1,000円、決算額1億5,171万1,000円でございます。前年度0.1%、948万2,000円の減とそれぞれなっておりますところでございます。なお、鉱産税、入湯税につきましてもたばこ税と同じように申告納付ということで、徴収率は100%ということでございます。なお、7番の都市計画税でございますけれども、これにつきましても93.7%の収納となっておりますところでございます。これにつきましても0.4%、徴収率を向上させておるところでございます。特別土地保有税につきましては、平成15年度より課税をしておりません。この内訳でございますけれども、現年度滞納繰越分の収納につきましては、先程の21年度的美祢市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書の緑の製本テープであるものでございますけれども、これの43ページと44ページをお開き下さい。まず、一番上の表でございますが、これは市税全体を取りまとめたものでございますけれども、不納額、収納未済額、それぞれ記載をしておるところでございます。先程総額で言いましたが、全体では92.0%、前年対比0.5%の増と収納率が向上しておるところでございます。なお税別の内訳につきましては、アからオまでそれぞれ記載をしておるところでございま

す。個人の市民税の収納率につきましては96.3%で0.1%減となっておりますが、その下の法人市民税の課税状況でトータル0.6%の増と、合わせまして96.7%でございます。なお、固定資産税の状況でございますが、これも金額が落ちておりますけども、合計では0.9%収納率を向上させておるところでございます。また、工の軽自動車税の納税状況でございますけども、これもそれぞれ現年、滞納合わせまして0.3%の収納率の向上を図っておるところでございます。なお最後の都市計画税の収納状況でございますけども、これにつきましても現年につきましては0.1%マイナスというふうになっておりますが、滞納分でしっかり頑張らって3.3%、上げてトータルで0.4%の収納率の向上というものを図っておるところでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 総務費関連の歳入の収入未済額の大きなものの説明をさせていただきたいと思います。美祢市各会計歳入歳出決算書14ページ、15ページをお開き願います。この中の款国庫支出金・項国庫補助金・目総務費国庫補助金でございますが、節の15ページにまいりまして、総務費総務管理費補助金がございます。これの収入未済額が489万2,000円となっております。これは21年度に創設されました子ども手当のシステムの構築に対する国庫補助金でございましたが、制度が確定したのが平成22年3月末でございましたので、平成22年度にこの制度に対してシステムを構築しております。従いまして平成22年度の歳入のほうに回ってまいりますので、平成21年度においては収入未済額として489万2,000円とさせていただいております。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（奥田源良君） 同じく決算書の16、17ページをお開き下さい。17ページ節5地域活性化・経済危機対策臨時交付金につきまして1億220万2,000円を未収金があがっております。これにつきましては、7事業ございますけど、これがまだ未完了ということで交付金が未収金となっております。6番目公共投資臨時交付金につきまして、同じく1億178万円が未収入金となっております。これにつきましても3事業ございますが、まだ完了しておりませんので、交付金の未収入となっております。7番目のきめ細かな臨時交付金、8,922万円が未収金となっております。これにつきましてはやはり12事業ございますが、これがまだ完了しておりませんので、交付金の未収金となっております。

以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、福田総務部次長。

総務部次長（福田和志君） 続きまして、20ページ、21ページをお開き下さい。2県補助金の1総務費県補助金・節総務管理費補助金でございますが、収入未済額180万円が収入未済となっております。これにつきましては、平成21年北朝鮮のミサイル発射に伴います事案に基づきまして、全国瞬時警報システムを防災情報通信整備事業補助金として実施をする予定でございましたが、繰越事業となりましたことから収入未済となったものでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、倉重財政課長。

総務部財政課長（倉重郁二君） それでは、32ページ、33ページをお開き願いたいと思います。同じく収入未済額の説明でございます。21市債でございます。市債全体といたしまして4億8,330万円を未済額としておりますが、これも先程の説明と同じように繰越明許費によりまして、繰越を行いました各事業にかかります財源でございまして、財源をそのまま22年度へ繰り越すための未収金が発生したものでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。ちょうど1時間経過しましたので、10時40分から再開したいと思いますので。

午前10時32分休憩

午前10時42分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に続き会議を開きます。説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。三好委員。

委員（三好睦子君） 歳入の市債ですが、昨今の経済情勢の悪化で収入見込みの減が予想されて予算補正で減額したにもかかわらず収入未済額が現年課税分と滞納繰越分併せて2億3,500万あります。そして不納欠損額も4,200万ありますが、昨年も多額の不納欠損金額がでていました。改善されていないように思うんですが、今後どのようにお考えなのかということと、市民税以外の税額において個人と企業が合算されていると思うんですが、個人と企業の別々の金額がいくらなのか解りましたら教えて下さい。お尋ねいたします。

委員長（徳並伍朗君） 川島税務課長。

総務部税務課長（川島 茂君） 只今三好委員のご質問にお答えしたいと思います

す。この審査意見書の43ページをお開き願いたいと思います。43ページのアの個人市民税の収納状況、そして下の表につきまして法人市民税の収納状況と、これが現年度分及び滞納繰越分ということで、この表に記載してあるとおりでございます。なお、先程、滞納繰越と不納欠損の状況についてお尋ねがございましたが、これにつきましては、ほとんどが固定資産税でございます。これにつきましても昨年もお尋ねがあったかと思えますけれども、これにつきましてはやっぱりバブル景気が過ぎ去りまして、今経営がうまくいかないという状況にたちよまして、これが繰越、繰越ということで不納欠損処理ということで、これが大きなウエイト占めております。他のここに書いてあります市民税、これは個人、法人あわせてですが、これも県下13市の中のトップで、収納率がトップでございます。また工の軽自動車税、オの都市計画税、これにつきましても県下13市の収納率はトップでございます。ただ先程三好委員のご指摘のとおり固定資産税につきましては、収納率が確かに県下でもビリではございませんけれども10番目という成績でございます。これにつきましてもわずかながらではございますが、0.9%ではございますけれども、前年よりも努力をいたしておるところでご理解頂きたいと思えます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 決算書の44、45ページと報告書の35ページをお願いします。実は他県では土地開発公社の問題が報道をされております。35ページの活性化対策費、2の美祢市土地開発公社事業費補助金で、決算書の関係で44、45ページで19の負担金、補助及び交付金4,710万と4,010万、700万どこへ、もし解れば説明をお願いします。

委員長（徳並伍朗君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 只今の岩本委員のご質問でございますが、45ページのほうの負担金、補助及び交付金4,710万円の支出済額は、これが全てが土地開発公社の支出ではございません。残りにつきましては、先程の実績報告書のほうの35ページでご説明をさせていただきましたが、活性化対策費の4地域活性化対策事業581万8,000円支出しております。このうちの負担金、補助金ということで自治宝くじの助成金事業、これを美東町ふるさとづくり推進協議会、それと秋芳八代振興会へ補助金として570万円支出しております。それが差額の大きな要因でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 1点だけお伺いをします。この実績報告書で説明がございました34ページなんですけど、土地開発公社に関わる問題かと思うんですけど、企画費の3予算計上されたときにも説明が一応あったと思うんですけど、十文字原総合開発事業用地活用調査業務委託料153万3,000円なんですけど、どのような事業されて、今後の事業推進にあたってですね、この支出がどのように活用されると思いますか、活かされていくのかということについて、確認になるかと思いますが、ご説明を頂きたいというふうに思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、田辺総合政策部長。

総合政策部長（田辺 剛君） 只今の安富委員のご質問にお答えします。この委託料については、土地開発公社所有の十文字原総合開発用地の活用のいろんなその方法をコンサルに調査研究していただいて、今後の十文字原総合開発用地の活用の方角性を出してもらうためにコンサルに委託したものであり、その結果の報告としては、市の財政負担にならない、できるだけならないように、それから観光交流につながるように、それと地元の雇用につながるようなものを誘致してこようというその結果の報告が出ております。その中に県とか国の施設誘致、あるいは民間の企業の誘致、それと今後インターネットで全国に発信して行こうという内容も盛り込まれておりますので、この報告を参考にしながら、今後土地開発公社の十文字原総合開発用地の利活用に努めて参りたいというふうに考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 活性化対策特別委員会があるわけですが、基本的にはですねこのような調査を踏まえてコンペ方式による市費と言いますか、市の財政負担が極力伴わないような形で開発ができたらというふうな計画が出てるわけですが、それにつながってきたというふうに思っているわけですか。

委員長（徳並伍朗君） はい、田辺総合政策部長。

総合政策部長（田辺 剛君） 今の安富委員がおっしゃったとおり、いろんな活用の方策を調査研究して検討した結果ですね、どうしても市が主体になって開発するということになれば莫大な市の財政負担を伴うというところで、それはちょっと困難であろうという結論にも達しております。市の財政負担を伴わないような方策をいくつかその報告の中で盛り込まれておいて、それを中心に今後十文字原総合開発用地の利活用に努めて参ると、それを進めて参るということで、この委託の結果が直接十文字原の利活用にはつながっておりませんが、今後の利活用の推進の方角性

をこれで示して、この業務委託で示されて、その結果それを参考にして今後推進して行くということであります。以上です。

委員長（徳並伍朗君） はい、安富委員。

委員（安富法明君） 巨額の市の財政負担となるような直接的な投資は今の状況からして不可能だというふうには解るんですが、特別委員会でもですねいろいろな意見が出ておるわけですが、これがかなり立地条件もいいし、開発にあたってはですね市の活性化に大いに役立つだろうということなんです、かなりのですね土地開発公社が既に精算、全国的など言いますか国の方針も含めてですね、以前ちょっと議論したと思うんですが、もう精算するといえますか、バブル期の土地が上がっていく時代の公拡法の適用によって設けられた公社としては使命を終えてるというふうなことも言われております。ですからそのことも踏まえてですね、購入した土地代と言いますか、価格等の設定を考えれば、提示されたしようにしている価格を考えれば、かなり基本的な計画に無理があるというのは委員会でも出ておったというふうに思いますので、今後にあたっては執行部におかれては十分にその辺のことも踏まえられて、ある程度の公社との関係も含めてですね、財政的な支出もやむを得ないというふうなことも考慮しながらですね、早期の有効的な計画が私は策定されるべきだろうと言うふうに思っておりますので、意見のような形になって非常に申し訳ないですが、それは一言申し上げておきたいというふうに思っております。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、有道委員。

委員（有道典広君） 十文字原のこと私も言おうと思ったんですが、安富委員が言いましたので。小さい話ですが、ハッピーウエディング支援業務委託料50万円。ちょっといろいろ若い人に聞いてみると、知らないという話もちらほら聞いております。これがどのように行われたか、またそれによって結婚された方が何名あったのか、そういう追跡調査がされておるのかと。美祢市も人口減で悩んでおりますので、果たして50万が多いのか少ないのか、私は少ないのではないかと考えておりますけど、その辺の追跡調査という結果をできればお願いしたいと思います。それとあと秋芳支所のどちらの支所かよくわかりませんが、宿日直業務委託料475万5,000円とマイクロバス運転業務委託料579万7,000円、先程、総務の一般管理費のほうにマイクロバス運転委託料183万8,000円とほぼ3倍近く、3倍以上ですか、その辺もちいとこれが一人の運転手やったら、私も会社経営しておりますけど、給料にあたるとすれば相当な金額になります。その辺等含め

てですね一つお願いしたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、奥田企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（奥田源良君） 只今のハッピーウエディング支援事業につきましてご回答いたします。これは21年度新規事業でございます、男女の出会いを創出しようという事業でございます。秋吉台家族旅行村におきまして11月8日に実施をいたしました。参加者は男女とも33名、計66名でございます。この中に美祢市の方が参加されているのは7名でございます。今この数字が若干少ないと思っておりますので、実施方法につきましては考えたいと思います。また、PR方法といたしましては、NHK、あるいはTYS、KRY、YAB、あるいはFM山口等を通じて周知したところではございますけど、残念ながら申しあげましたように美祢市からの出席は7名程度でございます。事業の実施で相思相愛カップルというには2組いらっしゃいました。また、初めてお会いになられた方ですので、今からお付き合いをして、両者の仲を深めていくと言いますか、お友達カップルというのが、8組ございました。残念ながらその方が結婚されたかというのは追跡調査のほうはやっておりません。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、桑原秋芳総合支所総務課長。

総合支所総務課長（桑原章光君） 委員さんの質問にお答えいたします。宿日直業務委託料でございますが、美東が237万7,536円、秋芳も同額でございます。合計で475万5,000円ということになっております。これにつきましては、1年間の宿日直の手当、日直が4,640円かける123日でございます。そういったもので算定をいたしております。それから運転業務委託料のマイクロバスでございますが、美東町につきましては第一交通のほうに委託をしております、車と運転手さんをお願いしております。それから秋芳につきましては、本課と同様、本課と金額は下がりますけれども直接車を持っておりまして、179万7,405円でございます。美東町につきましては委託料として400万計上して支出をしております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、有道委員。

委員（有道典広君） ハッピーウエディングのほうはたいしたことできない、50万ではたいしたことできないと思っておりますけど、使う以上はですね効果のある美祢市に人口の増えるために多分やったと思うんですから、その辺をきっちり50万が100万になっても私は反対しませんけど、その辺を踏まえて今後よう対策を練ってや

っていただきたいと思います。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他ありませんか。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 三好委員の質問の中で税の不納欠損額、いわゆる滞納について質問がありましたけれども、その回答がございましたので、私のほうから再度質問したいと思います。市税の中で市民税、固定資産税、これが8割近く占めておる。要するに自主財源としての市の独自の財源の8割以上はこの二つの税によるものです。その中で昨年も私この不納欠損についてかなり質問したんですが、粛々と滞納者については対処し、やる。収納率を高めていくとこういう回答がございました。しかしながら3箇年を見ますとこの監査意見書の44ページですか、19年度の不納欠損額6.2が、21年は9.9と3.7%増で不納欠損額にならないような対応に努力されたと。しかしながら21年度の税として当然納付していただけないのができなかつたのが3,200万円あまりあります。その中の収納率としては9.9%、いわゆる大半はもう不納欠損として処理されてしまうと請求することができなくなる。いわゆる固定資産税がその内の大半だと思いますが、やはり経済的な問題で税が払えないそういう家庭も当然あるかと思いますが、これまで市の姿勢としては粛々として対処すると、差し押さえについてもこれについて十分検討し、実行していきたいとこういう回答もございましたが、その辺りから見ると収納率が非常に悪い、固定資産税全体についても21年度についても88%ということ、他の税収よりはぐっと悪い。この辺りで粛々とやると言って回答されたその辺の状況はどうなっておるか確認したいと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、川島税務課長。

総務部税務課長（川島 茂君） 只今、河本委員のご質問でございます。先程ちょっと説明いたしましたけれども、わずかながら0.9%の収納率の向上を見ておることは先程申したとおりでございますが、これは今の大きな原因は個人の固定資産税ではなくて、事業によるもので、いわゆるもう放棄をされたような形のものというものでございます。事業でもいわゆる事業も停止され、いわゆる財産管理人に渡っておるということで、いわゆる競売なり財産が売れないと処分を、要するに収納ができないという状況のものが相当数大きなウエイトを占めておるというものでございます。これによって今個人の固定資産税につきましては、先程来、言われたよう粛々と努力してわずかではありますけれども、0.9%の収入のほうは率は上げております。ただ、今申し上げたいと言いますのは、事業による土地建物のいわゆる競

売処分が今手続きなりしてあって、それが進んでないというものでございます。今しばらくかかるか、処分できないままになるか、今いろいろ県のほうの知恵も借りながら今努力をしておるところでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 法的な手続きをしなくては収納することはできない。いわゆる破産してしまった。そう言った面については十分理解いたしますが、それにしても固定資産税で21年度で1億8,100万、未収入額としてこれが上がっているわけですね1億8,000万円も。そうするとその金が3月まで収納されないときには、今度、来年度にはまた不納欠損額に入るのか、繰り越して行くのか、その辺の仕分けというのはよくわかりませんが、かなりの額がいわゆるまだ収納されてないとそう言うことを考えると、税の公平性から言うともどうしても滞納するという方に対する働きかけ、これをどのようにしておられるか、もう少し今収納していただけない不納欠損額で処理しなくちゃならないものと、それからまだ21年度に納めておられない、それが22年度で納められておるかどうかわかりませんが、その1億8,000万円余りの未収入の税に対してどういうふうな対応されているか、これを確認しておきたいと思えます。

委員長（徳並伍朗君） はい、川島税務課長。

総務部税務課長（川島 茂君） 先程の話してございますが、いわゆる大きな金額、ここに21年度の欠損額でございます。これにつきましては、ほとんどが大きな事業を手広くやられた倒産をされて今所有者がいらないような状況、財産管理人にわたってですね、直接私どもが収納に行けないという状況に今なっているものが大半でございます。ただ個人につきましては、あるいは今から手続きをしなくてはならないものにつきましては、先程も申しましたように、粛々と収納に対する理解を求めて日夜臨戸訪問なりできるものにつきましてはやっております。あと財産管理人とのやりとりもこれも引き続いて努力はいたしております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） これはお願いですが、市民にとってやはり滞納しておられたり、もう回収をすることができないような不納欠損として処理しなくてはならないようなそういう額について、こういう数字を見られたときには少し不満の声も聞くんじゃなからうかと思うんです。そこで、やはり事情は倒産等によってどうしてもこれは法的処理であとどれだけの市税として入ってくるかわからないので、そうい

う額は大半であると、しかし大半と言っても6割か7割か8割か解りません。かなりの額であるということで私は一応理解いたしますけれども、やはり数字の上でまだこれだけ未収金がありますよ、払っておられませんよ、1億8,000万で。というような形が市民の中に広がってくると正しい理解をされないと、やはりこれは納税者に対して不満が出てくるんじゃないかならうかと。そういう面でやはりやむを得ないそういう未収金であるというような趣旨も、時を得て説明十分される必要があるんじゃないかならうかと思うっております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に民生費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） それでは款民生費をご説明を申し上げます。36ページの中程でございますけれども款民生費・項社会福祉費・目社会福祉総務費であります。主な事業といたしましてはここに記載しております1番といたしまして、社会福祉協議会補助金、社会福祉協議会に対しまして人件費部分、事業費部分及び高齢者生活相談所開設費に補助しておりまして、6,658万7,000円を負担金補助及び交付金において支出しております。また2番目といたしまして、地区民生委員児童委員106名の皆さんの活動に要する経費といたしまして、一人当たり9万8,800円で合計1,047万3,000円を支出をしております。続きまして、次の障害者福祉費であります。この経費につきましては、平成21年3月に策定いたしました美祢市障害者計画並びに障害福祉計画に沿って事業を展開しております。まず1番の介護訓練等給付費として3億8,646万1,000円を支出しております。この給付費は、障害者自立支援法に基づく介護給付及び訓練等給付事でございます。主なサービスといたしましては、居宅介護、ホームヘルパーの派遣でございますが、また、施設への短期入所、施設入所、就労継続支援などがあります。平成21年度におきましては、延べ3,359名が利用をしております。次に2番目、自立支援医療給付費でございますが、1,632万9,000円を支出しております。この給付費につきましては、身体障害者に対する人工透析治療、心臓手術、人工間接置換手術等の更生医療費に対する公的扶助制度であります。21年度におきましては、レセプト延べ件数といたしまし

て981件を数えております。次の3番目、福祉タクシー助成事業費として、594万7,000円を支出をしております。この事業は、重度の1級から3級の身体障害者及び療育手帳Aを持つ障害者に対しまして、タクシーの割引チケット1枚500円券を48枚交付する事業であります。毎年400名から450名の申請を受け交付いたしておるところでございます。4番目のコアラハウス運営委託料でございますが、委託料といたしまして、460万9,000円を支出しております。この事業は美祢市社会福祉協議会に委託し、デイケアセンターコアラハウスにおきまして、心身に障害のある在宅の障害児に対し、日常生活おける基本的動作の指導、集団生活への適応訓練及び障害の実情に応じた療育訓練を行う事業でありまして、延べ503人が利用したところであります。続きまして5番目、地域活動支援センター事業委託料であります。21年度におきましては1,175万円を支出しております。この事業は、美祢市社会福祉協議会に事業を委託し、センターにおいて簡単な作業や創作活動を行うことにより、障害者の日中活動の場を確保する事業であります。市内では、伊佐地区の「ひので」におきまして、延べ年間1,802人、秋芳地区の「あじさい」におきまして延べ2,263人が1年間で活動しておるところでございます。6番目といたしまして、特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当支給事業であります。まず特別障害者手当は、障害の程度が著しく重度で、常時特別の介護を必要とする満20歳以上の在宅の障害者に対しまして、月額2万6,440円の手当を支給する事業でありまして、受給者数は19名いらっしゃいまして547万4,000円を支給しております。次の障害児福祉手当であります。この手当は障害の程度が著しく重度で、常時特別の介護を必要とする満20歳未満の在宅の障害児に対して、月額1万4,380円の手当を支給する事業で、22名の受給者に対しまして、355万2,000円を支給いたしてあります。次の福祉手当は、昭和61年まで福祉手当を受給していた20歳以上の障害者で、障害基礎年金などの公的年金や特別障害者手当を受けていない方に月1万4,380円の手当を支給する事業でございます。受給者数は1名であります。17万3,000円を支給しております。以上でございますけれども、この生涯福祉費の中で、不用額の額の大きいものにつきまして、ご説明を申し上げたいというふうに思います。別冊の平成21年度の美祢市一般会計歳入歳出決算事項別明細書の54ページ、55ページをお開き下さい。中程に障害者福祉費で20番の扶助費であります。1,581万5,431円の不用額が生じております。この扶助費からは

自立支援医療扶助、介護訓練扶助費、日常生活用具等給付事業扶助などを支出しておりますけども、介護訓練等扶助の支出が、当初見込んだほどの額がなかったための不用額でございます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 続きまして、老人福祉費につきましてご説明をさせていただきます。36ページの下の方から老人福祉費において実施されている諸事業が列挙されておりますが、まず1の老人保護措置経費といたしまして、秋楽園、春光苑、やはず苑に対しまして、合計2,253万2,000円を支出いたしております。被措置者数は15人でございまして、平成22年3月31日現在の人数であります。続きまして、37ページの上でございまして、2番目の敬老祝金支給ということで、平成21年度中に人生の節目を迎えられた高齢者679人に対しまして、合計1,123万円の支出を行っております。続きまして、3番目敬老会開催事業についてでございます。昨年度、市内8地区におきまして、合計1,146人のご出席をいただき、敬老会を開催したところでございますけれども、この開催につきまして、委託料として498万3,000円の支出を行っております。また、一方でご参加いただけなかった方へのお祝品として4,701個を配布し、404万8,000円を支出しております。続きまして、4番目社会福祉施設整備事業費補助事業についてでございます。まず債務負担分として、みのり園、幸嶺園、グループホームひかりの園、ケアハウス幸嶺園の4施設に対して、合計190万円を支出しております。続きまして、地域介護・福祉空間整備等交付金事業分についてでございますけれども、これは既存施設のプリンクラー整備特別対策事業として新規に措置されたものでございまして、グループホームひかりの園に対しまして298万8,000円支出いたしております。次に、介護基盤緊急整備補助事業についてでございます。昨年度において建設されました認知症高齢者グループホームありがとうに対する補助金2,625万円を交付しております。それと併せまして、その下の介護施設開設準備経費補助事業として540万円を交付いたしましたものでございます。続きまして、38ページをお開き願います。5番目として、生きがい活動支援通所事業でございます。延利用者1,639人で委託料として655万6,000円を支出しております。次に6番目、緊急通報装置整備事業につきましては、市内全域に290台を設置し、センター方式と転送方式により運営がなされております。委託料として251万4,000円

を支出しております。次に7番目として、介護保険事業特別会計繰出金として4億1,252万1,000円を支出しております。続きましてこの老人福祉費にかかります不用額につきましてご説明をいたしたいと思っております。歳入歳出決算書の一般会計事項別明細書の54ページ、55ページをお開き願います。55ページの1番下でございますけれども、委託料におきまして321万5,871円の不用額が計上されております。これは複数の事業の不用額が合計されたものではございますけれども、金額の大きなものとしては、先程少し説明いたしましたけれども、各地区において開催されました敬老会開催に係る経費、さらには養護老人ホーム秋楽園等に対する老人保護措置経費が大きいものとして計上されております。老人福祉費につきましては、以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 続きまして、目福祉医療助成事業費であります。重度の障害者、ひとり親家庭及び乳幼児を抱えておられる家庭の経済負担の緩和を図り、安心して医療を受けていただく事を目的とした事業でございます。該当される方については医療機関の窓口で医療費の払いは生じないこととなっております。まず重度心身障害者に対する福祉医療費の対象者数は1,087名で支給額は1億7,919万4,000円でございます。続きまして、乳幼児に対する福祉医療費の対象者数は874名いらっしゃいまして、支給額は3,266万2,000円でございます。次にひとり親家庭に対する福祉医療費の対象者数は279名いらっしゃいまして、支給額は959万5,000円をそれぞれ扶助費において支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 続きまして、老人福祉施設費についてご説明をもうしあげます。この老人福祉施設費につきましては、市が運営管理いたしております養護老人ホームにつきましても経費が措置されてるものでございますけれども、1番目といたしまして、養護老人ホーム共楽荘の状況ということで、平成22年3月31日現在の状況をお示しいたしております。入所定員50人に対しまして被措置者数は46人で、前年度の同時期と同数となっております。事業費として5,207万2,000円を支出しております。次に2番目といたしまして、養護老人ホーム秋楽園、山口市と共同設置をいたしておる施設でございますけれども、平成21年度分の分担金について、建設に係るものとして396万1,000

円、管理運営に係るものとして630万2,000円をそれぞれ支出いたしておるものでございます。ここで再び歳入歳出決算書の事項別明細書のほうを56ページ、57ページをお開き願えたらと思います。57ページの下から6番目でございますけれども、委託料に595万2,382円の不用額が計上されてございます。この委託料の不用額につきましては、給食業務委託料の減額によるものが主なものでございまして、共楽荘における食事の数が、当初の見込みよりも減少したため減額になったものでございます。老人福祉施設費については以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 杉原市民課長。

市民福祉部市民課長（杉原功一君） それでは続きまして、国民年金費でございます。市町村では申請書の受付業務等を行っております。本市におきまして、国民年金費保険被保険者数につきましては、平成22年3月末現在で4,878人、内訳といたしまして、第1号被保険者2,921人、第3号被保険者1,792人、任意加入被保険者165人となっております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 続きまして、老人福祉センター費についてご説明を申し上げます。この費目におきましては、高齢福祉課が管理しております五つの高齢者施設の管理運営経費を措置いたしてございます。そのうち1番目として、老人福祉センター運営管理経費として527万7,000円を、2番目として、カルストの湯管理経費として670万2,000円を、そして高齢者コミュニティセンター管理経費として93万4,000円をそれぞれ支出してございます。ちなみに老人福祉センターにつきましては、昨年度までは美祢市社会福祉協議会が指定管理者制度により管理・運営をいたしておりましたけれども、施設の老朽化等に伴いまして、本年の3月31日に廃止をされております。老人福祉センター費については以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 杉原市民課長。

市民福祉部市民課長（杉原功一君） それでは続きまして、国民健康保険費でございます。国民健康保険事業特別会計操出金といたしまして、1億8,795万5,000円を支出しております。内訳といたしまして、保険基盤安定操出金、これは保険税の軽減分にかかるものですが、6,922万1,200円、同じく保険者の支援分にかかるものにつきましては1,546万1,191円、職員給与等操出金といたしまして5,686万5,957円、出産育児一時金等操出金といたしまし

て285万3,333円、財政安定化支援事業操出金といたしまして3,386万8,319円、その他の操出金といたしまして968万5,000円となっております。次に後期高齢者医療費でございます。後期高齢者医療費操出金といたしまして1億1,700万2,000円を支出しております。内訳といたしまして、事務費等操出金に1,755万7,124円、保険基盤安定操出金といたしまして9,944万5,332円となっております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） それでは続きまして、項児童福祉費・目児童福祉総務費であります。まず児童クラブ運営事業であります。市内には7箇所の児童クラブが運営されておりました。その運営費を総額2,408万6,000円を委託料において支出をいたしております。次の2番目の延長保育事業であります。延長保育は、11時間の開所時間の前後において、さらに30分以上の延長保育を実施する事業でありまして、市内の私立保育園3園に対して交付しております。総額1,628万2,000円を委託料において支出をいたしております。3番目のことばの教室運営事業委託料でございますが、400万8,000円の支出をいたしております。この事業は、言語発達遅滞児等に対する言語療法による療育事業でありまして、美祢市社会福祉協議会に委託し実施をいたしております。平成21年度は22名の方が登録いたしまして、通所をいたしております。次の4番目のファミリーサポートセンター運営事業委託料といたしまして266万5,000円を支出いたしております。この事業は、仕事と子育ての両立を支援することを目的といたしまして、育児を受たい人と協力できる人とが会員となりまして、相互に助け合う会員組織を平成21年10月に設置いたしまして、これも美祢市社会福祉協議会に委託し、活動を続けております。現在、会員数でございますが、依頼会員が121人、協力会員が52人、両方会員21人いらっしゃいまして、発足から今日までの総活動回数は122件でございます。続きまして、目児童措置費でございます。これは児童手当の支給に係るものでございますが、被用者児童手当といたしまして4,358万円、続いて非被用者児童手当といたしまして892万円、特例給付といたしまして19万円、被用者小学校修了前特例給付といたしまして9,756万円、非被用者小学校修了前特例給付といたしまして2,017万円を扶助費において支出をいたしております。続きまして、2番目の保育所運営委託費でございます。市内私立保育園4園及び管外の市外にあります6保育園へ

の支出でありまして、総額2億604万円を委託料として支出をしております。続きまして3番目、子育て応援特別手当事業でございます。1,256万4,000円を支給しております。子育て応援特別手当は、目的を生活対策といたしまして、幼児教育期の第2子以降の子を対象といたしまして、平成20年に創設され美祢市といたしましても予算化しておりましたが、支給基準日が平成21年2月1日とされたことなどによりまして、繰越明許費として処理させていただき、平成21年度に一人当たり3万6,000円の349名分1,256万4,000円を支出したところでございます。児童措置費は以上でございますけれども、不用額の額の大きいものについてご説明を申し上げます。一般会計歳入歳出決算事項別明細書の60ページ、61ページをご覧頂きたいと思います。下のほう、ずっと下から4番目ですか、目2児童措置費の委託料であります。313万5,770円の不用額が生じております。ここでの委託料では、市内私立保育園運営託料、管外保育委託料などを支出しておりますけれども、管外保育委託料、市外における管外保育の児童数が見込んだ額に満たなかったということによる不用額でございます。続きまして、実績報告書にお戻り下さい。目母子福祉費であります。これは児童扶養手当でございます。延べ1,905人に対し、7,160万3,000円、扶助費において支出をいたしております。次に、目児童福祉施設費であります。市内の直営の公立保育園は9園ございますが、定員・実入所人員はご覧の表のとおりであります。また、入所待機児童はおりません。次の40ページをお開き下さい。工事請負費におきまして、大田保育園の保育室にエアコンを設置いたしております。35万1,000円、支出をいたしております。同じく大田保育園の遊戯室にエアコン設置工事費として69万1,000円を支出いたしております。また、大田保育園給食調理室の給湯器取替工事に21万9,000円を支出いたしております。赤郷保育園保育室にエアコン設置工事費といたしまして35万1,000円。また、綾木保育園保育室エアコン設置工事費に35万1,000円。真長田保育園保育室エアコン設置工事費に35万1,000円。同じく真長田保育園の休憩室の床修繕工事費といたしまして19万9,000円それぞれ支出いたしております。児童福祉施設費の説明を終えますが、額の大きい不用額につきましてご説明を申し上げます。歳入歳出決算書事項別明細書の62ページ、63ページをご覧頂きたいというふうに思います。丁度真ん中辺ですが、児童福祉施設費の7賃金であります。441万5,162円の不用額が生じております。ここでの賃金は公立保育園9園の臨時、パート

保育士の賃金を支出しておりますが、4月からの措置児童数が予算編成時に比較し、少なかったことにより、臨時・パート保育士の採用が不用になったことによる不用額であります。続きまして実績報告書にお戻り頂きたいと思っております。次の項生活保護費・目扶助費であります。生活保護世帯は年々増加傾向にあり、21年度決算時における生活保護の被保護世帯に対し、生活扶助費のほか2億6,743万2,000円を扶助費として支出をいたしております。次の目災害救助費であります。項災害救助費・目災害救助費、被災者更生援護扶助といたしまして、災害弔慰金を250万円支出いたしております。これは21年7月の豪雨によりまして、伊佐町下曾原の方が死亡されたことによる弔慰金であります。

引き続き歳入につきましてご説明を申し上げます。事項別明細書の10ページ、11ページをご覧頂きたいと思っております。一番上になりますが、社会福祉費負担金であります。調定額4,622万1,198円に対しまして、収入済額が4,609万8,798円であります。差引収入未済が12万2,400円となっておりますが、この内、調定額18万7,400円、収入済額6万5,000円、収入未済額12万2,400円は身体障害者福祉費負担金、これは施設利用料でありますけれども、この未済額につきましては、毎月定額を支払っております、23年度中には完納となる見込みでございます。続きまして、次の2児童福祉費負担金であります。調定額1億2,004万5,000円に対しまして、収入済額1億1,372万5,240円、不納欠損額40万1,200円、収入未済額591万8,500円は、保育料負担金であります。不納欠損額40万1,200円につきましては、平成15年度分保育料であります、児童福祉法の規定に基づきまして、5人分を不納欠損処理いたしました。なお、現在未納分の徴収につきましては、電話催告・特に月末におきまして、担当係はもちろんですけれども、各総合支所市民福祉課職員にも同伴を願って臨戸訪問を実施し、徴収に努めております。今後も徴収することに努力することといたしております。また、同じく事項明細書の30ページ、31ページをご覧下さい。中程になりますけれども、項貸付金元利収入の2民生貸付元利収入であります。節が1同和福祉援護資金貸付金収入であります。今日では貸付実態はございませんけれども、未償還の調定額221万1,739円に対しまして、償還額が42万5,438円であり未償還額につきましては178万6,301円となっております。これは2名いらっしゃいます。今後、借入者の理解を得ながら電話催告なり臨戸訪問など実施いたしまして、徴収に努めてまいるといふこととして

おります。続きまして、次のページ、32ページ、33ページをご覧頂きたいと思  
います。項7雑入・目3雑入・節3民生雑入でございます。収入未済額が945万  
3,955円でございます。これは生活保護費返還金の収入未済が747万5,23  
4円と秋吉デイサービスセンターからの電気料等の入未済が197万8,721円  
であります。合計945万3,955円ということになりますが、まず生活保護費  
返還金につきましてご説明を申し上げます。調定額844万4,163円に対しま  
して、収入済額が96万8,929円であり、収入未済が747万5,234円と  
なっております。本来、保護費といたしまして、支弁されるべきではなかったこと  
により返済を求めるものでございまして、適正に徴収申告を行っている被保護者よ  
りも不誠実な被保護者が有利とならないよう、臨戸訪問等を行って徴収に努めてお  
ります。更に努力して参る所存であります。もう1点の秋吉デイサービスセンター  
電気料等の収入未済につきましては、事業受託者は平成22年5月28日に金融機  
関で振込処理をいたしましたけれども、出納閉鎖を経過した6月2日に会計課に入  
金されたことにより収入未済ということとなったところであります。事業受託者に  
対して、早めの手続きなど、厳重に注意したとろでございます。以上で説明を終わ  
ります。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はご  
ざいませんか。山本委員。

委員（山本昌二君） 実績報告書の38ページですね共楽荘の状況がここに定員と  
被措置者数、事業費5,207万2,000円と書いてありますが、実はですねこ  
れにお聞きしたいのは、毎月収入もですね相当見てあろうと思います。非常にです  
ねこの入所した人が何か主人が亡くなって、孤独な状態で私はもう死のうかとい  
うような方がですね半年前にこの共楽荘に入りまして、入れさせて頂きまして、その  
人が非常にですね、元気ついて最近はとてもじゃない年齢は大正生まれですからあ  
れですが、非常に元気になられて入所しておられる皆さん方と、非常にですね人間  
関係もよくなって顔色もですね良くなって元気ついておられるわけですが、職員  
の皆さんに接してみても、精神的な介護も非常に素晴らしいよというふうに思っ  
ておるわけですが、これのですね入所者の何て言いますか、我々から言えば入所のため  
のですねこちらから支払いする部分ですね、当初10万円近く見込んでおったよう  
であります。何か非常にですねその3分の1ぐらいになったということで、非常  
にですね会計を持っておる親族の人が喜んでおるわけですが、やはりこれについま

してお聞きしたいのは、やはり市のこの予算報告書見ても解るんですが、やはり市の予算をある程度とおってあるということも言えるわけですが、非常に喜ばれております。入所者皆元気になっておられます。入所料も結構安いし非常に喜んでおられますが、所得とかいろんな制限、あるいは家族世帯、いろいろな条件等が重なってですね、いろいろとそうした入所料が変わってくるものかどうかお尋ねしたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） はい、白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 只今の山本委員のご質問にお答えしたいと思います。全段の部分のお褒めの言葉につきましては本当にありがとうございました。職場に帰りただちに職員にご報告申し上げたいと思います。ご質問の入所者の負担金についてのお尋ねだろうと思いますけれども、負担金につきましては各入所者の収入に基づきまして適切に措置をされて、それぞれお支払いをいただいておりますという状況でございますので答弁とさせていただきます。

委員長（徳並伍朗君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。午後 1 時より再開したいと思います。

午前 1 1 時 5 2 分休憩

午後 1 時 0 2 分再開

副委員長（高木法生君） 休憩前に続き委員会を開きます。委員長が所用のため席をはずしておりますので、これより副委員長の私が委員長の職務を務めさせていただきます。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

次に衛生費を議題といたします。執行部より説明を求めます。古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） それでは実績報告書 40 ページをお開き下さい。款衛生費・項保健衛生費・目保健衛生総務費の 1 食生活推進活動事業ですが、親子の料理教室や高齢者料理教室の食生活改善を通じまして、地域の健康づくりの推進を図っております、述べ実施人数は 2 万 6 9 人となっております、委託料として美祿市食生活推進協議会に 2 3 7 万 5 , 0 0 0 円を支出しております。

副委員長（高木法生君） はい、佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君）　続きまして、同じく保健衛生総務費でございます。2としまして、未給水地区飲料水水源確保事業でございます。個人7件、共同2件の計9件、453万1,000円を支出しております。以上でございます。

副委員長（高木法生君）　古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君）　続きまして、目予防費ですが、1予防接種事業では予防接種法に基づき急性灰白髄炎ほか定期の予防接種実施いたしました。集団及び個別により計8,285人に接種し、4,477万5,000円を支出しております。2健康増進事業では胃がん検診から基本検診まで、述べ1万1,665人に実施し、健康教育、訪問指導、健康相談では、述べ6,572人、計1万8,237人に実施しております、その費用として4,162万9,000円を支出しています。3女性特有のがん検診推進事業では、子宮がん、乳がんの検診に、述べ370人、301万7,000円を支出しております。4昨年流行し大きな話題となりました新型インフルエンザ対策事業について、低所得者層への接種扶助として338人、175万9,000円を支出しています。5結核対策事業として、BCG接種、X線間接撮影を述べ2,567人に実施し、442万6,000円を支出しております。続きまして、母子衛生費ですが、母子保健事業として、妊婦、乳児等保健相談事業や乳児検診、1歳6か月、3歳児検診など述べ7,826人、2,355万7,000円を支出しております。不用額の説明をいたしたいと思います。歳入歳出決算書の明細書のほう見ていただきたいと思います。66、67ページをお開き下さい。予防費の委託料に1,104万4,084円の不用額が発生しております。これは出生数の減による予防接種委託料の減、高齢者のインフルエンザ予防接種者の減、またがん検診の受診者の減による委託料の減による者であります。また母子衛生費の委託料315万7,260円の不用額が発生しております。これは妊婦さんの減による妊婦検診の減、当初は出生数だいたい180人見込んでおったのですが、160人ぐらいになっております。これに伴う乳児の検診の減、1歳6か月児検診の減によるものであります。なお歳入については収入未済額はございません。以上でございます。

副委員長（高木法生君）　佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君）　続きまして、環境衛生費でございます。1番目の犬、猫等の収容ということでございます。快適な環境づくりの一環と

して、不用な犬猫等の引取等を行っております。21年度の状況は記載のとおりでございます。2番目として、狂犬病予防法に基づきまして、予防注射を行っております。21年度は1,400頭であります。3番目として、中央墓園墓地移転工事でございますが、中央墓園の陥没した墓地がございまして、その移転工事を行っております。2件で167万6,000円支出しております。目の次の火葬場費でございます。1として、船窪山斎場1号炉火葬制御盤等取替工事として813万8,000円を支出しております。2番目として、ゆうすげ苑管理委託料でございますが、指定管理者制度によりまして管理運営を行っております。1,806万5,000円の支出をしております。3番目として、船窪山斎場委託料でございます。管理運営を委託しておりますが、543万6,000円を支出しております。続きまして42ページでございます。項保健衛生費・目環境保全費、1でございますけれどもPCB廃棄物の運搬・処理業務委託料として550万9,000円を支出しております。高濃度のPCBの廃棄物の処理につきましては、国の指定する施設で処理をいたします。21年度が山口県が処理をされる順番の年にありまして、9台の物を処理しております。次に2として、低濃度でありましたPCBの廃棄物の処理を行っております。その処理分析費として5万3,000円を支出しております。続きまして、項の清掃費・目清掃総務費でございます。1番目、合併浄化槽設置整備事業として2,875万円を支出しております。21年度は74基の補助申請がありまして補助しております。その次の目の塵芥処理費でございます。塵芥処理費の総額では3億800万近くを支出しておりますけれども、1番目、21年度のごみの処理の状況でございますけれども、可燃物は約6,857トンでございます。不燃物で委託の処分しました量は約137トン、埋めたての処分量は約320トンでございます。それから2として、有価で販売できる物、あるいはリサイクルできる物は資源物として処理をしております。その状況は空き缶が約110トン、ほか表のとおりとなっております。3番目として集団回収量のことでございますけれども、市内ではPTA等で市内回収行われております。その量の一覧でございます。表に示しております。4番目でございますけれども、カルストクリーンセンターの洗浄塔床面積補修工事として146万円を支出しております。5番目と6番目、リサイクルセンターと最終処分場につきましては、指定管理者制度により管理運営を行っております。5番目のリサイクルセンターにつきましては、2,112万9,000円、最終処分場につきましては、704万3,000円の支出をしております。

す。続きまして、塵芥処理費についての不用額につきまして、ご説明を申し上げます。21年度の美祢市一般会計歳入歳出決算事項別明細書でございます。その71ページをご覧ください。需用費でございます。不用額が671万448円でございますけれども、これは主に燃料費、光熱水費の減少によるものでございます。20年度は原油が高騰いたしました。21年度は原油価格もやや落ち着いた状況で推移しております。次に委託料でございます。1,030万8,450円の不用額でございます。これは主に一般廃棄物の収集運搬委託料の減によるものでございます。次の72、73ページをご覧ください。目のし尿処理費でございます。その不用額につきまして、ご説明を申し上げます。需用費でございます。357万7,337円の不用額でございますが、これは主に光熱費の減によるものでございます。それでは実績報告書のほうにお戻り下さい。項の水道費でございます。目水道施設費でございます。1番目の水道事業会計操出金として1億1,605万4,000円を支出しております。2番目の簡易水道事業特別会計操出金として5,665万9,000円を支出しております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 続きまして、43ページをご覧ください。項病院費でございますが、病院事業会計操出金として美祢市立病院に4億3,659万6,000円、美祢市立美東病院に3億8,810万4,000円を支出しております。以上です。

副委員長（高木法生君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 続きまして、目の美祢社会復帰促進センター診療所費でございます。主な事業の中1番美祢社会復帰促進センター診療所運営事業費でございますが、これは美祢社会復帰促進センターのセンター生に対する診療に係る経費でございます。主には市立病院への操出金となっており9,014万5,000円を支出しております。不用額でございますが、こちらの歳入歳出決算書の75ページをお開き願えたらと思います。75ページ一番上の目に美祢社会復帰促進センター診療所費とあります。その中で操出金において387万9,288円の不用額となっております。これは主には診療に対する医薬品、それから資材が余ったものであります。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それでは、43ページの衛生費、病院費、目で病院事業費に関してでありますけども、主な事業費の中で病院事業会計操出金ということで、美祢市立病院が4億3,600万円程度。それから美祢市立美東病院、これが操出金が3億8,800万円程度。こういう形で入っておるわけでございます。この中身について、国庫出資金等で地域活性化臨時交付金等で充てられたりとか、いずれにしても、また、へき地医療費負担金、そういったところから入ってきているとは思いますが、いずれにしても一般会計からの繰り出しということでもあります。そういうことで、病院、2つ維持していく上において、病院側としては、経営を一生懸命されている。それを維持していくためには、市の側としては、こういった形で支援策を行っていくということでもありますけれども、今回、こういう形で操出金が出ているわけでございますが、今後とも病院も一生懸命、経営努力されると思えますけれども、市側としてのこういった一般会計からの操出金というのは、今後とも8億程度でずっと推移していくかどうか。この点、ちょっと一点だけお尋ねしたいと思っております。

副委員長（高木法生君） はい、倉重財政課長。

総務部財政課長（倉重郁二君） それでは、只今の質問にお答えいたします。病院の繰り出しにつきましては、病院のあり方検討委員会でも答申がありましたように、行政の負担部分と病院の経営努力の負担を明確にするということで、それを受けまして操出基準を明確に作りました。その操出基準に基づきまして、繰り出しを行っている状況であります。したがって、今後ともその操出基準に基づきまして、繰り出しを行うようになると思えます。以上です。

副委員長（高木法生君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） この点については、最後の総括のところでは少しやっていきたいなと思っております。それともう一点なんですけど、保健衛生費で環境保全費で主な事業として、PCB廃棄物運搬・処理業務委託料ということで、550万程度ついているわけでもありますけれども、このPCBというのは、ポリ塩化ビフェニルで、環境ホルモンという形で非常に、何と言いますか、生殖機能とかそういったところを非常に疎外する。こういった化学物質であるわけでございます。こういったところで今後、処理費として様々なこういったものというのは、配電盤の絶縁材として多く今まで使用されてきたところであるわけでございますが、まだ市の関連施設等でこういったところに、まだ今後こういった処理業務委託料550万ついてい

ますけれども、今後ともこれに対しては、まだまだ、そういった処理すべきこういったPCBが、どの程度まだあるかどうか。今後ともこういった処理というのは、毎年どの程度、今後続くかどうか。この点について一点伺いたいと思います。

副委員長（高木法生君） はい、佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 只今の岡山議員のご質問にお答えを申し上げます。この550万9,000円という処理運搬の委託料ということで、21年度に事業を実施したわけですが、これは、高濃度というたぐいのPCBの器機、いわゆるトランス類とかが、今まで市民会館ほかで保管をしてございました。先程も申しましたように、国のほうの委託の機関がこの周りでいいますと、北九州のほうにございます。そこで処理をするということになります。平成21年度で山口県が処理の順番に回ってきておりまして、処理したわけですが、以上のことから申しまして、高濃度のPCBの廃棄物は、この美祢市役所の施設の中ではないと思っております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） この廃棄物PCB、これについては、車として9台分ほどあったということですね。これに対して順番があったということで平成21年度3月末までにこういった処理を行ったということですね。これ1回で全部、今回で済んだかどうか。その辺についてどうなかと。もう無いと言われましたから、これで全部済んだということですか。それでよろしいんですか。ちょっとその辺を。

副委員長（高木法生君） はい、佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 高濃度についてのPCB、今まで保管していたもの、現実に保管をしてまいりました。その処理を済んだというふうに判断しております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） わかりました。処理は済んだということで、今後この点については、しっかりとよく見ていきたいと、そのように思っております。以上です。

副委員長（高木法生君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） はい、質疑なしと認め、質疑を終わります。只今、一般会計の歳入歳出の説明を受け、質疑をいたしました。その他、款1議会費から款4衛生費まで、また関連する歳入につきましては、決算書等を含めまして質疑を行

います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。この際、1時40分まで休憩いたします。

午後 1時25分休憩

午後 1時40分再開

副委員長（高木法生君） 休憩前に続き委員会を開きます。まず、労働費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 予算執行実績報告書の43ページ、款労働費・項労働諸費・目労働諸費でございます。まず報償費といたしまして、就職祝金を34万円を交付しております。次に委託料といたしまして、人材・企業育成活性化事業委託料995万円を支出しております。負担金、補助金及び交付金でございますが、中小企業退職金共済掛金補助金27万2,000円、美祢市勤労福祉共済会補助金10万円、連合山口美祢地域協議会補助金38万3,000円を支出しております。

副委員長（高木法生君） はい、佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 続きまして、目の2勤労青少年ホーム費でございます。勤労青少年ホームはご案内のとおり勤労青少年の福祉の増進を図ることを目的とした勤労青少年福祉法に基づいて建設された施設でございます。当地におきまして勤労青少年に対する相談とか指導、あるいはレクリエーション、クラブ活動等の勤労青少年の余暇活動を支援する施設でございます。そういうことでございまして、この度勤労青少年に対する情報提供等を考えて勤労青少年のホームのデジタルテレビ整備事業を行いました。これは32インチの液晶テレビでございます。1台設置させていただきました。これが4万6,000円でございます。続きまして、勤労青少年のホームの利用状況でございます。勤労青少年ホームには全部で7室ございますが、これに対するこの施設のホームの登録者でございますが、登録者は現在150人おられます。ほとんどが30歳以上の方が登録でございます。またこの表にございますように青少年ホームのほうで講座、あるいはクラブを開設しております。講座は6講座ございまして、区分欄の左にありますように、茶道教室、生花教室、太極拳教室、英会話教室、中国語教室、それから書道教室と

6講座ございます。これの表に詳しくありますが、全体で128回ほど講座を開かせていただきまして、859の方が利用されておられます。それからこれ以外にクラブが9クラブございまして、これに延べ395回利用されて2,795人ほど利用しておられます。これ以外にその他とありますが、これがどういう方かというほとんどが行政利用でございまして、9,399人、合わせまして1万3,053人が利用ということになっております。ちなみにここの施設の運営のために21年度に支出したお金は、全体で846万4,125円でございます。その主なものは主に需用費あるいは業務委託料等でございます。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 続きまして、農村勤労福祉センター費でございます。委託料といたしまして、農村勤労福祉センター管理委託料102万8,000円を支出しております。利用件数につきましては168件のご利用を頂いております。その下続きまして、勤労者福祉施設費でございます。勤労者福祉施設管理委託料1,659万円を支出しております。勤労福祉会館利用件数につきましては1,291件、勤労者総合福祉センター、サンワーク美祢でございますけども利用件数は2,062件でございます。続きましてその下、シルバー人材センター運営事業費でございます。負担金、補助金及び交付金としまして、美祢市シルバー人材センター運営事業費補助金1,272万円を支出しております。このうち県から補助金としまして109万9,000円が美祢市のほうに入っております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） お尋ねします。ページ43の労働諸費の中で、5番目の連合山口って何でしょうか。特定の労働組合に団体じゃないでしょうか。これに補助金を行政が出してもいいものかどうかお尋ねします。もし、これが労働組合だとしたら、ほかにも全労連とかありますが、どうなんでしょうか。

副委員長（高木法生君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 只今のご質問でございますけども、連合山口美祢地協の正式名称と申しまして、ちょっと手元に資料がございませんので、わかりませんが、個々の労働団体が集まって結成をしております連合の山口県にございます、そのうちの美祢地域にございます労働組合の団体の協議会でござい

ます。先程、その他の労働団体はということでご質問でございますけども、手元に資料がございませんけども、ほかにその労働団体でこういう協議会を作っておるのが美祿地区にはないというふうに考えておりますけども。

副委員長（高木法生君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 尋ねたいのは、行政が特定の労働組合に補助金を出していいのかが知りたいのですが。確か農協は全労連だと思いますが。

副委員長（高木法生君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 特定に労働組合ということじゃあなしに、あくまでも労働組合の連合体でございます。ですから一つの労働組合ではございません。

副委員長（高木法生君） よろしいですか。はい。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） はい、質疑なしと認め、質疑を終わります。次に農林費を議題といたします。執行部より説明を求めます。秋枝農林課長。

建設経済部農林課長（秋枝秀稔君） 続きまして農林費でございます。ページは44ページお願いします。農業振興費でございますが、3番目、水田農業構造改革推進事業というのがございます。1,736万円支出しております。これは単県の機械導入補助ということで4団体に農業機械の購入補助を行っております。続きまして4番目、中山間地域等直接支払事業ということで、これは今第2期対策でございますが、125協定、1,328ヘクタールに対しまして1億5,881万9,000円の支出を行っております。歳入歳出決算書のほうで78ページをお願いいたします。中段の下でございますが、不用額336万8,000円ということで、負担金、補助及び交付金ででしております。これは当初予算で2億263万2,000円のうちですね336万8,650円に不用額が生じております。これは優良地域農業農産物流通促進事業などの4件について、事業の減が生じたということでございます。続きまして、また帰りまして44ページ農地費をお願いします。一番最初の1番目土地改良事業債償還助成金ということでございますが、1億7,265万8,000円ということでございます。圃場整備事業の借入金の償還に係る助成金ということで、美東町土地改良区に8,311万2,000円、秋芳町土地改良区に8,954万5,000円とこういう支出になっております。続きまして、2番目、農地・水・環境保全向上対策事業負担金でございますが、この事業は平成19

年度に始まりまして、23年度まで一応区切りとなっておりますが、18地区、87集落で面積的には田が460ヘクタール、畑が52ヘクタールの1,695万3,000円の支出となっております。これは県の協議会のほうへ支出いたしますので地元のほうへはこの4倍額の6,781万2,000円の補助金になります。続きまして、決算書のほうお願いいたします。80ページ、81ページのほうお願いいたします。中段目15の工事請負費でございますが、1億7,323万円の予算額に対しまして、276万2,000円の不用額が生じております。これは農地費の入札減により不用額が生じたということでございます。その下、19の負担金、補助及び交付金ということで、予算額2億5,874万1,000円に対しまして960万1,358円の不用額が生じております。これは県営の農地防災事業及び県営中山間地域総合整備事業におきまして、事業が減になったとこういうことで不用額が生じました。この事業もその結果がわかるのが2月頃ということで、こういう不用額となりました。それから下の28操出金でございます。予算額1億7,918万9,000円に対しまして、不用額が1,110万8,472円の不用額が生じてますが、これは農業集落排水事業の特別会計操出金でございます。これが不用額として残っております。続きまして44ページに帰って頂きますと畜産業費でございますが、予算執行実績報告書のほう44ページをお願いいたします。畜産業費でございます。4番目、畜産基盤再編総合整備事業でございます。これは昨年度秋芳地区、美東地区におきまして、この国の事業を行っております。牛舎などを建っております。この事業であります。1億8,511万円ということです。これに関連いたしまして、不用額が出ております。決算書のほうお願いいたします。畜産業費の負担金、補助及び交付金ということでございますが、予算額2億2,231万4,000円に対しまして2,620万3,826円の不用額が生じて下ります。これは先程申しましたように美東、秋芳で畜産振興のための事業を行いました。この最終的に事業が減となったということで、不用額が生じたものであります。続きまして、予算執行実績報告書のほうお願いいたします。44ページ、林業総務費でございますが、秋吉台山焼き防火線設置報償金ということで473万2,000円の支出を行っております。これは防火線等の設置及び火入れにつきまして各集落へ補助したということでございます。同じく下側2番目の防火線設置委託料というのは市が仮払い火入れをするための需用費でございます。続きまして、45ページをお願いいたします。林業費の林業振興費でございます。2番目、有害鳥獣

捕獲奨励事業585万9,000円の支出を行っております。これはイノシシ、シカ、サル等の有害鳥獣駆除に対する奨励金でございます。ちなみにイノシシにつきましては、昨年度1,250頭、シカについては394頭、それからサルにつきましては11頭捕獲しております。これの奨励金でございます。続きまして、その下6番目、森林整備地域活動支援交付金事業ということでございますが、これは俗に言う農業でいう中山間地域直接支払の山林盤ということでございますが、これでこの事業は境界明確化等の事業を行っております。1,575万4,000円の支出を行っております。これにつきましては決算書の82ページ、83ページをお願いいたします。ここで19負担金、補助及び交付金ということで不用額が生じております。予算額3,642万6,000円に對しまして119万7,020円の不用額が生じております。これは先程申しました森林整備地域活動支援補助金に施行区域の明確化等や作業道補修事業に事業の減が生じたということで不用額となりました。続きまして、予算執行実績報告書のほう帰って頂きます、45ページ、森林整備費でございます。1番目につきましては、流域公益保全林整備事業ということで、これは市有林の整備事業でございます。2番目、森林総合研究所分収造林事業でございますが、これは旧森林開発公団の事業地の市有林に對しまして、造林をして頂いておるその事業の委託費でございます。これにつきましては、歳入歳出決算書の84、85ページをお願いいたします。13委託料につきまして、予算額4,829万2,000円に對しまして、不用額215万5,278円の不用が生じております。これは先程申しました森林総合研究所分収造林につきまして、事業計画の変更によりまして若干の減が出たということでございます。続きまして、林道費でございますが、林道維持管理業務ということで、256万9,000円支出しております。治山事業費につきましては、小規模治山事業を昨年度豪雨災害のことで事業を行っております。190万円の支出を行っております。以上でございます。

(発言する者あり)失礼しました。歳入のほうお願いいたします。歳入歳出決算書のほうお願いいたします。9ページをお願いいたします。分担金及び負担金の1項分担金・2目の農林業費分担金ということで、節予算額2,367万2,000円に對しまして、不用額が94万4,000円生じております。これは県営のため池の事業を行いましたところ地元の負担金につきまして、若干地元で不在地主等がございまして、調整に手間取りまして、5月の出納閉鎖に間に合わなかったということがありました。現在は入金しております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 実績報告書の44ページの農業振興費と農地費その中の振興費の4の中山間地域等直接支払事業。それから農地費の農地・水・環境保全向上対策事業費。この2件についてお尋ねします。農業振興において中山間地等の直接支払事業は、非常に地域づくり、中山間地における農業振興に大きく寄与して、5年間のひとつのサイクルの中で10年間が経過してある。そして農地・水のほうも今5年の経過が23年度で終わる。中山間地のほうは、22年度から第3期に事業が入ってるんじゃないかと。1期はそれぞれ5ヶ年。これは国や県の補助に対して市が負担をし、受益者負担はないと。そういうことで中山間地の直接支払で1億5,800万円あまり、それから農地・水が1,600万円。これ、今農業所得補償の反当たり15,000円、プラス4,400円とか15,000円とかという形になるのではなかろうかという考え方もあるけれども、今、地域全体を考えるとやはり、水路、農道、畦畔等の草刈り、これは、農地を持っている人だけの関わりじゃあなくて、地域ぐるみでやはり中山間地の自然環境や生活環境を守っていくそういう形に、それは変容しております。そういったことから農業をする人を対象じゃあなくて、地域ぐるみという形の取り組みが広がっているやに伺っているわけです。そこで、まず、10年間やり、5年目の農地・水そういったものを振り返ってみて財政効果、いわゆる事業を実施した効果としてどういうものが成果として考えられるか。そういうとりまとめをされてするかどうか。そして、もう一つは、現状として、22年度のこの中山間地の第3期の事業に向かって、とりまとめが8月末までになされているんじゃないかと思っています。聞くところによると両事業ともリーダーがいなかったらとりまとめが出来にくい。併せて事務量がたいへん。いわゆる指定された事業、50項目、40項目ありますが、それに対して実績報告では必ず写真を添付し、そして国の検査にクリアできるような会計処理もしておかなくてはならない。そういう面からすると、だんだん農村地域では、中山間地では特に高齢化が進み、そして、集落としてのまとまりも少なくなっている。今、この21年度の予算書によりますと、中山間地域は125協定という形で集落が結んでおられると思いますが、今そういう課題や現状を考えた時に、新たな申請に向かって協定を結ぶ団体が増えているか減っているか。そして今のような取り組みに対して、いろいろ課題があるということについて掌握され、それに対する支援なり

対応をされているかどうか。こういった面から、この事業の一応のとりまとめとしての一つ状況をご報告願いたいと。以上です。

副委員長（高木法生君） はい、秋枝農林課長。

建設経済部農林課長（秋枝秀稔君） 河本委員さんの質問でございますが、中山間地域直接支払事業は、平成12年度に開始されまして、17年度から第2期対策ということで、本年度から第3期対策に入っております。8月末の集計をしております。なかなかこれが、これは違うちょっと、あれは違うちょっとといういろいろな申し出がございますが、今のところ面積的にはですね、約50ヘクタールばかり減となっております。昨年度で言いますと、125協定で面積は、1,328ヘクタール。金額的には、1億5,762万円の補助金が支払われております。市はそのうち4分の1の3,970万4,000円の支出を負担を行っております。中山間地域等の農業農村が持ついろんな機能を下流域に住む人が享受しておると、そういう趣旨から、傾斜地の農業生産不利条件の補正のための、補助ということでございます。農地・水・環境保全向上対策事業につきましては、平成19年度から事業開始されまして、5年間の平成23年度で一応の終了というふうになっております。これは、21年度におきましては、18区で87集落、田畑併せて1,512ヘクタールで、国からの合わせた金を支払った金は、6,781万2,000円になっております。同様に市が4分の1の負担をしております。この事業は、農村地域の社会状況の変化に対応するために出された事業というふうに考えております。両事業併せて美祢市に2億2,500万円入っております。今年ですね、戸別所得モデル事業が始まりまして、これが約2億6,500万円入ります。全体では4億9,000万円というふうに計算しております。中山間地域直接支払事業は、傾斜地に対して支払われておりますから、傾斜地の経営不利農地の荒廃防止に大変役立っておるということでですね。片や農地・水・環境保全向上対策事業は、農地、農業用水等の資源を地域ぐるみの共同活動で守るという事業であるということから、水路や農道の地域資源の荒廃防止に大変役立っておるというふうに考えております。繰り返しますけど、中山間直支が経済的な視点、農地・水事業が地域環境の視点というふうに思っております。両事業とも地域に取り組む事業というところから、地域の施設や資源を地域住民みんなで考えることとなりまして、地域の皆さんの共同意識の醸成など、目に見えないとても大きな効果があるものというふうに考えております。今後とも両事業の推進を大きく図る必要を感じております。なかなかこの事

業、取り組みが難しいという側面がございます。そのために県の土地改良連合会等に協力いただきまして、そのとりまとめをしておるといところでございまして、皆さんが取り組みやすいような仕組みを考えていかにゃあいけんというふうに思っております。なかなか今のところこれという取り組み方法と言いますか、簡単になるような取り組み方法が今のところちょっと見えておりません。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 今の回答がございましたように、二つの事業を併せても4億円あまりの財政投資が美祿市の農村地域に助成されているという。これは、農業所得にはかなり影響のある事業だと思っておりますし、地域の活性化、また、地域づくりの大きな原資にもなっているわけです。そういう意味ではこれは協定の中山間地であれば125地区の協定が多く減少してきておると。それから24年度からは、農地・水の協定集落なり団体が、またこれからの申請の中に減ってくるんじゃないかなんかというの、先程、リーダーなりそれをお世話する人とか、それから、その事業に取り組む事務量なりいろいろな制約があると。こういうことで、要望として、美祿市は中山間地域を、大半の地域が中山間地域です。条件の悪い、いわゆる地理的、また、社会的な環境の恵まれない、しかし、日本の国土を保全するという先程、効果の中では荒廃農地を少なくするそういう意味でも、この事業に取り組むことによって、地域の人達の協力で遊休農地または荒廃農地が少なくなってきたら、これは非常にいい事業ですが、ひとつ中山間地についても10年やって、さらに5年の延長をこれからやろうとそういう中で、条件緩和によって取り組む地域が拡大するような働きかけ、中山間地の環境保全に係わる農地・水については、水系とか又は集落の連携を通して、組織を少し大きくしてリーダーが確保が可能なようなそういう組織体をぜひ作るよう働きかけられて、こういう事業の展開がさらに拡大する、縮小じゃなくて拡大することによって中山間地域の農村や農業を守っていく。そういう働きを行政として一層お願いしたいと。なお、事務の簡素化については、県や国に積極的に働きかけてほしいとこういうことを要望して、一応終わります。今、これ要望でしたが是非ともお願いします。

副委員長（高木法生君） はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 私は、今の河本委員さんとちょっとニュアンスが違いますが、最後のひとつほど質問をします。その前に私どもの集落は、今度、中山間の関係

が緩和されまして、傾斜が100分の1ということでも条件に満たない。大変やる気であったんですが、傾斜地が少ないということで、100分の1になっても採用されなかったという大変残念なところです。やる気十分ですので、またひとつご指導のほどよろしくお願い申し上げます。もう一つは、農地・水・環境保全対策事業につきましては、私どもは、農道を22年度で全部舗装します。そういうことで市道農道全部舗装されまして、強いて言やあ河川管理道、これは農水省じゃあなくて国土交通省の関係です、ちょっと難しいですから。大変いい事業でございますので、ぜひ今河本さんが言われましたように、これからも進めていただきたいというふうに思っております。最後に質問でございますが、これ土改連に払う手数料が高すぎりゃあせんかと、こういう意見があります。その辺はどのようなお考えか、これからのご方針、最後に聞きましてご回答をよろしく申し上げます。

副委員長（高木法生君） はい、秋枝農林課長。

建設経済部農林課長（秋枝秀稔君） 確かに手数料が若干目にしみるというところでございますが、これは、当初から思っておったわけでございますが、そういう意見もあるということで、また再度、交渉なりしていきたいというふうに思っております。

副委員長（高木法生君） ほかに質疑ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） はい、質疑なしと認め、質疑を終わります。次に商工費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君） 予算執行実績報告書の45ページ中程でございます。款商工費・項商工費・目商工総務費の説明を申し上げます。初めに報酬といたしまして、矯正施設活性化推進室相談員報酬81万円、工事請負費といたしまして、竹材資源活用事業作業場改修工事159万6,000円、これはセンター内の訓練室に新たに冷房機器を設置した工事でございます。同じく竹材資源活用事業運営補助金2,000万円を支出しております。続きまして、商工振興費でございます。まず、ふるさとまつりアンモナイトフェスティバルでございますが、委託料216万円、みね桜まつり委託料69万1,000円、明許繰越でございますが、みねマップ作成委託料210万円でございます。続きまして、商工会運営事業補助金950万円、商品券発行事業補助金さくら振興券でございますが、1,300万円、商工貯蓄共済融資制度保証料補給補助金114万8,000円、市制度融

資保証料補給補助金としまして119万4,000円、市制度融資利子補給補助金としまして69万9,000円でございます。続きまして、緊急雇用創出事業委託料806万4,000円、ふるさと雇用再生特別交付金事業委託料750万円を支出しております。続きまして、流通対策費でございますが、消費生活問題広報啓発活動等委託料としまして18万円、備品購入費としまして63万4,000円、これは消費者相談用としまして、事務用机、ノートパソコン、プリンターを購入したものでございます。

副委員長（高木法生君） 西田観光振興課長。

総合観光部観光総務課長（西田良平君） 続きまして、目観光費でございます。県観光連盟負担金163万9,000円、市観光協会補助金329万8,000円、産業観光推進協議会負担金40万円、最下段になります日本観光協会負担金12万、46ページをお開き下さい。秋吉台観光まつり助成金800万、秋吉台エコツアーリズム協会負担金58万8,000円、ながと路観光連絡協議会負担金45万円、長州路観光連絡会負担金16万1,000円、おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会負担金86万3,000円、合併1周年記念・秋芳洞開洞100周年記念イベント委託業務としまして632万9,000円、うち282万2,000円が繰越明許でございます。下関・長門・美祢広域観光推進事業費負担金42万2,000円でございます。以上です。

副委員長（高木法生君） 綿谷観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（綿谷敦朗君） それでは観光費の12から25までを説明いたします。12の水神公園浄化槽維持管理業務委託料から16大岩郷周辺草刈業務委託料までの合計額92万6,000円につきましては、旧美祢市にあります観覧料収入を伴わない観光施設の維持管理経費でございます。17の中国自然歩道草刈業務委託料、18の秋吉台人工の森公衆便所及び駐車場管理業務委託料、合わせて106万1,000円と24秋芳洞水質調査業務委託料29万4,000円は秋吉台管理経費でございます。19のエコ・ミュージアムエレベーター管理業務委託料から23エコ・ミュージアム夜間警備業務委託料までの309万7,000円につきましては、エコミュージアム管理経費でございます。25の観光事業特別会計繰出金4,178万7,000円につきましては、リフレッシュパーク起債償還金の交付税算入額等についての経費を繰り出すものでございます。以上です。

副委員長（高木法生君） はい、高橋文化財保護課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君）　続きまして、観光費目の26番目でございます。秋吉台景観保全事業調査業務委託事業でございます。これは県からの委託事業でございます。秋吉台国定公園の草原の景観保全のため立木調査等の委託事業ということで99万9,000円を支出しております。以上です。

副委員長（高木法生君）　松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君）　続きまして、道の駅管理経費につきまして、これは道の駅みとうの清掃委託料としまして174万7,000円、浄化槽管理委託料29万7,000円でございます。続きましてその下、産業技術センター費でございます。産業技術センター管理委託料といたしまして102万8,000円を支出しております。利用件数につきましては115件のご利用を頂いております。続きまして、企業誘致対策費でございますが、報償費としまして180万円、これは市内進出企業2社に対し、雇用奨励金9人分を支出したものでございます。次に負担金、補助金及び交付金としまして、山口県企業誘致推進連絡会議負担金103万円を支出しております。最後でございますが、十文字工業団地給水施設費でございます。水質検査委託料57万5,000円、工事請負費としまして、浄水場鉄蓋設置工事25万9,000円を支出しているところでございます。以上でございます。

副委員長（高木法生君）　説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君）　質疑なしと認め、質疑を終わります。次に土木費を議題といたします。執行部より説明を求めます。矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君）　予算執行実績報告書の46ページをお開き下さい。土木管理費・目の土木総務費でございます。隣の47ページ土木総務費993万8,000円を支出しております。主な事業といたしまして、美祢東ジャンクション開通式経費55万2,000円、ほか市道外灯等電気代434万9,000円を支出しております。その下、地質調査費、地籍調査事業補助対象分でございますが、8,396万円を支出しております。主な事業といたしまして、美祢地域　1.85km<sup>2</sup>で、調査地区が東厚保の持田・岩ヶ河内・大嶺町堤でございます。美東地域が3.45km<sup>2</sup>で、美東町赤・綾木・長田でございます。下の表に進捗状況を付しております。続きまして、道路橋梁費・道路維持費でございます。道路維持

事業といたしまして1億369万3,000円を支出しております。主な事業といたしまして、市道横坂徳定線外舗装補修工事外で6,525万5,000円を支出しております。その下に市道の状況等を付しております。続きまして、道路新設改良費、地域活力基盤創造交付金事業補助対象分でございますが、5,249万円、秋吉小学校線で測試、用地取得等で4,912万9,000円、2といたしまして、道路新設改良事業1億689万9,000円、市道西湯の口本線外側溝整備等で210万円、1枚めくられまして、48ページをお開き下さい。同じく道路新設改良費で市道岩ヶ河内線舗装工事外で8,000万4,000円程支出しております。その下でございますが、橋梁維持費、橋梁維持経費といたしまして438万円、橋梁通常点検業務委託外で白岩橋橋梁補修工事、四之瀬橋橋梁補修工事等を支出しております。続きまして、都市計画費・街路事業費でございますけど、まちづくり交付金事業といたしまして7,591万5,000円、補助対象分で渋倉伊佐線広幅歩道整備工事といたしまして5,201万円を支出しております。2といたしまして、街路事業経費といたしまして、美祢駅前広場清掃業務と市道国行下村線外の街路樹整枝業務委託でございます。続きまして決算書の97ページをお開き下さい。中程の街路事業費97ページの17公有財産購入費210万円、これは全部不用となっております。これはまちづくり事業の公園整備事業の用地代として当初みておりましたが、他の事業、道路事業でございますが、関連により用地との関係で取りやめたために不用となったものでございます。引き続きまして、実績報告書の48ページ、中程から下でございますけど都市公園管理費といたしまして1,770万2,000円、建設課が所管しております街区公園、西伊佐街区公園外についての管理経費でございます。その下は、その他の公園ということで竹林公園、美祢さくら公園についてでございます。続きまして49ページをお開き下さい。同じく都市計画費・都市公園事業費でございますが、都市公園事業費といたしまして214万2,000円。主なものといたしまして、公園遊具他補修工事94万5,000円でございます。続きまして、都市排水路整備費、都市排水路整備事業を5,142万8,000円で吉則地区都市排水路整備工事に4,907万9,000円ほか、美祢八ビテーション調整池浚渫と調整池除草処理業務を行っております。電柱移転につきましては、吉則地区の排水路整備に関わるものでございます。その下、都市排水路管理費でございますが、大嶺町山下地区の排水ポンプ場の維持管理といたしまして31万6,000円、その下、公共下水道事業費、公共下水道事業

会計繰出金といたしまして6億285万1,000円を支出しております。続きましてその下、河川費でございます。河川総務費、河川総務経費といたしまして、御山樋門管理委託が10万2,000円、河川維持工事を2件やっております。引塚川、草井川を2件やっております。その下、河川公園管理経費といたしまして、高山河川公園、大田川河川公園、中辺砂防公園などで全部河川公園管理で126万3,000円を支出しております。続きまして、住宅費でございます。住宅管理費6,796万2,000円を支出しております。主なものといたしまして、昨年度、老朽住宅52戸につきましての解体工事を3,347万4,000円をいたしまして、支出をしております。続きまして、50ページをお開き下さい。同じく住宅費・住宅建設費、1といたしまして、高齢者向け優良賃貸住宅、美祢市内に二つの賃貸住宅があるんですけど、その利子補給といたしまして102万6,000円、2といたしまして、地域住宅交付金事業、これ補助対象分でございますけど、主な事業といたしまして、公営住宅整備事業といたしまして、下領北団地B棟24戸を建設いたしまして3億99万6,000円を支出しております。決算書の101ページお開き下さい。その中で住宅管理費、先程申しました解体工事の工事請負費15の不用額が1,540万2,000円、これは入札減で落札率が低かったために不用額が生じたものでございます。そのページの住宅建設費の同じく101ページの15番工事請負費これも507万5,500円、これも入札減のものでございます。

続きまして、歳入のご説明を申し上げます。一般会計の歳入の13ページをお開き下さい。13ページの上段から二つ目、住宅使用料で不納欠損額が309万9,236円を実施しております。これは平成元年から平成15年頃までの使用者が、入居中死亡して相続人が所在がわからないものや、入居者が無断で転居して所在のわからないもの、現在は事務手続きをして違う方が入っておられるんですけどその方の所在が解らないということで、もう請求のしようがないということで不納欠損額として挙げたものでございます。その右側でございますが、収入未済額2,143万2,396円でございますけど、美祢市各会計の歳入歳出の決算書の審査意見書の46ページの中程に住宅使用料の収入状況を表示しております。昨年度が2,463万3,000円の未済額がありまして、今年が2,143万円ということで、未済額は少しは上がっておりますが、まだ2,100万という多額の額があるわけでございますけど、引き続き建設課の中で二人一組で班を作って、夕刻に家庭

訪問や電話で督促等行って、収納を今からもやっていこうと思っております。以上です。

副委員長（高木法生君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 先程の住宅の不納欠損額ですが、亡くなられたのは仕方ありませんが、どこに行かれたのかわからないというのは、役場ですから転入届、転出届とかがあるのでつかめるんじゃないでしょうか。これ不納欠損というのは5年間で時効って言うかだめになってしまうんですね。だから役場で住所変更とかそういうので、見るわけにいかないんですか。

副委員長（高木法生君） はい、矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 只今の三好委員さんのご質問でございますけど、不納欠損であげた方々は、移転されたところはわかっておって、そこに行っても、そこにおられなかったということで、その次がわからなかった件、物件というか、ものばかりやったものをあげさせてもらっております。以上です。

副委員長（高木法生君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 失礼な言い方もわかりませんが、それってきのうやきょうの、転居は1日おきでころころかわられるわけじゃあないと思いますけど、やはり注意をするというか、もし払われなかったら、どうして払われないとか、本当に身近に相談にのってあげるとか、そういった寄り添った対応があるのではなかったではないでしょうか。

副委員長（高木法生君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 委員、言われるように入居中の滞納もかなりあったものがありましたので、今からにつきましては、滞納が多い方については、頻繁に家庭訪問等をして収納に努めていきたいと思っております。

副委員長（高木法生君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） はい、質疑なしと認め、質疑を終わります。次に消防費を議題といたします。執行部より説明を求めます。西岡消防本部総務課長。

消防本部総務課長（西岡博和君） 実績報告書の50ページをお開き下さい。款消防費・項消防費・目常備消防費からご説明申し上げます。事業の主なものについて申し上げます。1の梯子車オーバーホール、これは5年ごとの義務づけがありま

す。これに3,318万円、4の新型インフルエンザ対策防護資器材、これは300セット購入しておりますが、これに320万9,000円、次に7番の移動式空気充填機、これは隊員の火災時の空気呼吸器に伴います空気ポンベの充填機であります。これに417万9,000円、8番の高度救命用資器材、これは人工蘇生システム、俗にオートパレスというものですが、これを2基、これを582万8,000円、9番目の救急救命士九州研修所の研修費ですが、こちらに201万円を支出しております。次に消防団経費にあたります非常備消防費であります。1の消防団車輛購入事業、これは美東方面隊大田分団第一部隊にあります消防ポンプ自動車更新整備に1,548万8,000円、2番目の防火衣、これは石油対策補助金事業もちまして事業を行っております。こちらに60万5,000円、このうち県の支出金ですが、48万8,000円が入っております。次に同じく防火衣ですが、こちら118万3,000円、以上の防火衣をもちまして、3年計画でありました美東並びに秋芳方面隊に隊員用の防火衣それぞれが整備を完了しております。続きまして、3番目の消防団活動服等一式、こちらにつきましても交付金事業におきまして160万6,000円、これをもちまして5年計画でありましたものを前倒しによりまして、美東方面隊並びに秋芳方面隊の全団員の活動服が整いました。4番目の背負い式消火水のうですが、これは林野火災のときに使用する消火装置です。こちらを128体分290万3,000円を持ちまして事業を行っております。次の表につきましては1年間の出動状況についてお示しをしております。続きまして、消防施設費ですが、市内4箇所に耐震性貯水槽を設置いたしました。これの総額が2,079万1,000円、その内国庫補助金としまして938万4,000円が入っております。以上、簡単ですが説明を終わります。

副委員長（高木法生君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。次に教育費を議題といたします。執行部より説明を求めます。石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） それでは51ページをお開き頂ければと思います。款教育費・項教育総務費・目事務局費でございます。秋吉教職員住宅解体工事といたしまして248万9,000円を支出しております。以上です。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） 続きまして、指導費です。学力向上対策プロジェクト事業、これは校内研修費、それから標準検査料、それから会議等の旅費でございますが、226万9,000円を支出しております。

副委員長（高木法生君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、高等学校費でございます。私学振興に伴う運営費補助といたしまして1,440万円を支出しております。これは市内にあります私立高校の施設整備等に関わる助成金でございます。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） 続きまして、目外国青年英語指導事業費でございます。この事業はALT英語助手2名を活用して、中学校において英語指導を行う事業であります。886万5,000円を支出しております。以上です。

副委員長（高木法生君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、小学校費でございます。目の学校管理費でございます。1番のスクールバス購入事業としまして389万6,000円を支出しております。2番目でございますが、小学校デジタルテレビ購入事業としまして206万4,000円を支出しております。これは市内の小学校22校に対しまして、デジタルテレビ、それからブルーレイレコーダ整備したものでございます。続きまして、目の教育振興費でございます。1番、理科教育施設整備事業としまして1,603万8,000円を支出しております。これは23年度から小学校の学習指導要領が変更に伴います理科教育備品、それから算数教育部品の整備をしたものでございます。続きまして、2番、小学校教育用教材購入といたしまして1,325万7,000円を支出しております。これは市内22校の小学校に対しまして、デジタルテレビ、それから電子黒板を整備したものでございます。続きまして、小学校コンピューター整備事業としまして2,630万7,000円を支出しております。これは市内の小学校合わせまして278台のパーソナルコンピューターを整備いたしました。また合わせましてレーザープリンターも整備いたしましたものでございます。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） 続きまして、4番の小学校英語活動事業でございますが、これは23年度から小学校において外国語活動が完全実施という

こととなります。それに伴いまして美祢市の全小学校に指導助手を派遣をしていく事業でございます。150万円を支出しております。それから5番目ですが、就学援助事業でございます。小学校の認定の人数が184人でございます。1,085万5,000円を支出しております。それから続きまして、52ページでございます。6番の就学援助事業、これは特別支援教育関係でございますけれども71万5,000円を支出しております。以上です。

副委員長（高木法生君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、目の学校施設整備費でございます。主なもののみをご紹介させて頂ければと思います。2番の小学校校内LAN整備事業でございます。先程教育振興費の中で小学校コンピューター整備事業がありましたが、各教室、それからパソコン室等をランケーブルで結ぶという整備工事でございます。続きまして、5番目の伊佐小管理棟耐震診断業務委託ほか2件ということで、今年度実施しております小学校の耐震工事に伴う耐震診断の業務委託ということで551万3,000円を執行しております。続きまして、項の中学校費をお願いいたします。学校管理費でございます。1番、中学校デジタルテレビ購入事業としまして71万2,000円を支出しております。これも市内の中学校8校に対しましてデジタルテレビ、それからブルーレイレコーダを整備したものでございます。続きまして、目の教育振興費、1番の理科教育施設整備事業ということで585万2,000円を支出しております。これは平成24年度から中学校の学習指導要領が改正になりますので、理科教育備品、それから数学教育備品を整備したものでございます。続きまして、中学校教育用教材購入ということで480万8,000円を支出しております。これは市内の中学校に対しまして、デジタルテレビ、それから電子黒板を整備したものでございます。続きまして、中学校コンピューター整備事業としまして2,449万円を支出しております。これは市内8箇所の中学校に対しまして、合計250台のパーソナルコンピューター、合わせましてレーザープリンターを整備したものでございます。続きまして目の学校施設整備費をお願いいたします。主なものをご報告させて頂ければと思います。5番目の中学校校内LAN整備工事ということで263万6,000円を支出しております。これは教育振興費の中でご説明させて頂きましたコンピュータ関連に関わるランケーブルの整備事業ということでございます。続きまして、9番の大嶺中普通教室A棟耐力度調査ほか4件ということで735万円を支出しております。これは今年度耐

震工事を実施しております大嶺中、秋芳北中の耐力度調査に関わる業務ということでございます。続きまして、項の幼稚園費でございます。目幼稚園費、1番、幼稚園就園奨励費補助ということで1,810万2,000円を支出しております。これは市内外の幼稚園に通園する204名のものに奨励金として補助するものでございます。2番目の幼児教育振興事業費補助といたしまして226万8,000円を支出しております。これは幼稚園教諭、施設整備します補助ということで支出しております。続きまして、私立幼稚園特別支援教育費補助ということで19万6,000円を支出しております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） すいませんちょっと抜けましたので、中学校費の教育振興費の4番、就学援助事業でございますが、中学校のほうの認定の人数が78人でございます。714万6,000円を支出しております。5番目の就学援助事業の特別支援関係でございますが85万6,000円を支出しております。以上です。

副委員長（高木法生君） 佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 続きまして、53ページ、款教育費・項社会教育費・目社会教育総務費でございます。社会教育総務費におきましては、主に社会教育を行っている主要な団体、例えばPTA、あるいは青少年育成市民会議とか、婦人会、文化協会、文化団体等に支出しておりますが、そういう団体が9団体でございます。これに対しまして250万8,000円ほど補助金を支出しております。続きまして、2番目でございます。美祢市子どもいきいき体験事業でございます。これは秋吉台の造山運動を解明した地質学者で小沢儀明先生が山梨市におられまして、この縁で秋芳町の時代から山梨市と交流事業を行っているものでございまして、美祢市が合併で引き継いだ事業でございます。毎年お互いに各年で行ったり来たりするわけですが、平成21年度におきましては、山梨市の子どもたちが22名ほど昨年8月の19日から21日の間、秋吉台のほうに参っております。そこで美祢市内の子どもと交流を行っております。全体的には116万ぐらいの経費はかかりましたが、その内60万の補助金を市が出しております。それから続きまして、3番目でございます。これは放課後子ども教室運営事業と申しまして、放課後子どもたちが安心して、あるいは安全な居場所を作るということで、国の補助事業でございます。国が3分の1、県が3分の1補助して頂きまして、事業費として

は517万7,000円でございます。市内に17教室ございます。対象は基本的には全ての児童・生徒が対象となるわけですが、実的には小学校3年程度までの子どもがこの教室に参加しております。その下でございます。秋吉台国際芸術村運営委託料でございます。これは美祢市の観光交流の拠点ということで、美祢市にもこういう素晴らしい施設があるということで、これは旧秋芳町の時代に建ったものでございますが、平成18年から指定管理者制度になりまして、現在財団が管理運営しておりますが、これに対する運営の委託料として2,907万8,000円程支出しております。ちなみに21年度におきましては、国際芸術村そのものについては226万6,000円の黒字が決算として上がっております。利用率のほうの向上も図られているということでございます。続きまして、目の公民館費でございます。美祢市の公民館全部で13館ございますが、これに対して全体の予算額は1億2,708万3,000円程度の約そのぐらいでございますが、これに対して美祢市は現在社会教育課として生涯学習を大きな社会教育の柱としております。ということで公民館においても生涯学習をしっかりとやらせようということで、1番目の生涯学習推進等講師謝礼等支出しております。これは102万6,000円でございます。その下の伊佐公民館記念館等の工事でございますが、全部でこれ以下17件ございますが、それぞれの公民館拠点施設の補修の工事でございます。19番目、20番目に公民館に対するデジタルテレビ整備事業がございますが、これは来年からの地デジに対応するための地デジの整備事業で、13館全部に整備させて頂きました。公民館費はということで1億2,000万でございますが、人口一人当たりになおしますと昨年4月1日現在は2万9,374人でございますので、一人当たり3,000円とという計算になっております。ということで、できるだけ多くの方に公民館のほうに参加して頂いて、生涯学習のほうにいそしんでいけたらというふうに考えております。続きまして、目の図書館費でございます。図書館におきまして、やはり平成23年度から始まります地デジに対応するために美祢図書館にデジタルテレビを整備させて頂きました。秋芳図書館のほうにも同じように整備させて頂いております。それから現在各図書館にはこのように全体で10万6,425点の図書がございまして、一人当たり直すと3.6冊ぐらいになるわけですが、今年これに加えて子ども議会でも話題になりましたが、子どもにしっかりと本を読んでもらって、素晴らしい子を育てていこうということで、子ども読書活動計画も策定するようになっております。ということで図書館が大いに利用さ

れるようお願いしております。続きまして、目の市民会館費でございます。市民会館につきましては、昨年屋上の防水の補修が必要ということで、これに対して731万2,000円、合わせてこのときに市章のほうも取り付けております。それから同時に雨樋が老朽化で傷んでおりましたので、これの補修の工事を199万9,000円で行っております。

副委員長（高木法生君） 高橋文化財保護課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） 続きまして、文化財保護費でございます。54ページをお開け下さい。文化財保護費といたしましては、主な事業といたしまして、図書館前に置かれておりますC58型蒸気機関車の修理及び塗装工事を行っております490万4,000円を支出しております。続きまして、目の文化施設費でございます。これは歴史民俗資料館、化石採集場、化石館、長登銅山文化交流館の運営費としての費目でございますが、全体として約5,328万8,000円ぐらいの予算を支出しております。主な事業といたしましては、化石採集場の簡易休憩所に141万8,000円、化石採集場簡易トイレ購入に22万5,000円を支出しております。また昨年の4月24日には長登銅山文化交流館竣工式を行っておりますので、その経費25万6,000円を支出しております。各館の利用状況等につきましては下記の表のようになっておりました、合計で利用者は1万5,150名になっております。続きまして、目秋吉台科学博物館費でございます。全体の経費といたしましては、3,418万2,000円ぐらいを支出になっておりました、主な事業といたしましては、秋吉台科学博物館開館50周年記念式典並びに関連行事開催事業といたしまして56万6,000円を支出しております。続きまして、秋吉台科学博物館のこれは屋上とか、あるいは外壁の舗装のやり替えなどでございますが、非常に50年経っておりまして、老朽化しておりますので、雨漏りの防止等外観を少し良くするという形でこの事業を行っております。661万8,000円を支出しております。その下に館の利用状況がございますが、博物館のほうには1年間で4万6,568人の方がご利用頂いております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 続きまして、目生涯学習まちづくり推進事業費でございます。先程申しましたように、美祢市の教育委員会社会教育課におきましては生涯学習をいかに進めるかということで、非常に頭を悩ましておりました。

て、この中に2本ほど柱がございまして、一つが生涯学習推進事業、これは生涯学習推進大会、昨年は11月1日に美祢市民会館において開かせて頂きまして、本年度も同様の大会を開くことになっております。これに要する経費、あるいは花いっぱい運動を進めておりまして、その優秀な花壇の表彰、それから生涯学習の推進大会における優秀な作品の表彰等、これに対する経費等含めて153万円でございます。それからその下が、市民大学講座運営事業でございます。これは市民により深い教養を深めてもらって、生涯学習に役立って頂こうという主旨でございます。昨年はいろいろなことがございまして、開催は今年の3月4日になりまして、弁護士在住田裕子先生においで頂きました。参加者が当日はいろいろ悪天候というか悪くて463人の出席でございました。それから続きまして、その下の目の花づくり推進事業費でございます。美祢市においては社会総参加活動ということで、花づくりを積極的に進めております。これが1,715万2,000円でございます。主には花づくりの非常勤の職員の報酬あるいは花を作ってもらうためにシルバー等を雇用しておりますが、これの委託等があります。もちろんこれに花に要する肥料とか除草剤とかの消耗品等も含んでおります。これ以外に花以外に1,715万2,000円の中には厚狭川の桜並木の管理業務も入っておりまして、4月には厚狭川の市民会館の周辺に咲いているさくらの下で、市民の方に大いに歓談して頂いて交流を図って頂こうということで、これの管理のほうを行っております。昨年は吉工園さんのほうにお願いいたしまして131万でやって頂きました。それからその下が美東センター費でございます。美東センターは、632万5,000円の全体的な予算の中で動いておりまして、同センターの利用状況はこの表のとおりでございます。その下が来福センター費でございます。これはご承知のように来福台にございますが、これも全体予算としては942万6,000円で、昨年は来福センターの玄関の庇がちょっと補修が必要ということで、これに109万2,000円ほど計上させて頂きました。同時に来福センターにも地デジ対応のテレビのほうを整備させて頂いております。来福センターの利用については、この55ページ上段にありますように全体で1万4,555人がご利用していただいております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 篠田体育振興課長。

教育委員会体育振興課長（篠田 尊君） 55ページの項保健体育費・目保健体育総務費、4番目の美祢市駅伝競走大会開催事業に107万円を支出しております。

5番目の美祢秋吉台高原マラソン開催事業に220万円を支出しております。続きまして、目体育施設費、1の市民球場設備改修工事に89万3,000円を支出しております。2番目の於福中学校夜間照明整備工事に186万9,000円を支出しております。3番目でございますが、体育施設の利用状況をお示ししております。次に56ページをお開き下さい。目体育施設費、4番目でございますが、美祢市小・中学校体育施設開放事業ということで、各地域にスポーツの施設の提供ということで、この利用状況をお示ししております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） 石田教育委員会事務局次長

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、目の給食施設費でございます。伊佐学校給食共同調理場厨房照明器具取替工事ほか2件ということで162万3,000円を支出しております。

副委員長（高木法生君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 社会教育の分野について、私自身も今説明を受けましたがわからないから、少し厳しい質問になるかもわかりませんが、お答え願いたい。まず、社会教育推進事業の体系的な施策、そういうものの整備はされているかどうか。先ほど社会教育において、社会教育事業、生涯学習推進事業、この二つの柱と言って公民館もその事業をやっているかと思いますが、やはり学校教育は学校教育課は学校教育をサポートするための指導機関、また支援機関としてあるわけですが、社会体育や社会教育はそれぞれの事業の実施者として、イコール事業の推進をしておられると思います。そういうことからすると、一例を挙げると公民館ではどのような事業を展開しておられるのか、生涯学習につながる事業、社会教育につながる事業、そういうことを説明されましたけれども、具体的にどのような事業が展開されておるか。そして、その成果はどうなっておるか。そういったものがこの実績報告書にあがってきてない。図書館とか青少年ホームは、どういう利用とか講座がありましたとか明確に示されておりますので、そういう事業をしておられるのか、市民が関わっておられるのか、こう私たちは理解するわけではありますが、今概念的に社会教育と生涯学習というのを言われたが、私自身もその区分について、明快な美祢市の方針について理解することが出来ませんので。社会教育は学校教育を除くすべての教育活動を包括してまとめて事業を推進する。その事業の中には、発達課題に対応する各時期における学習の展開や、啓発の事業というものもあるでしょ

う。かつては同和問題が中核である、同和教育に対する学習展開が盛んになされておった。併せて、幼児から高齢者まで生涯にわたる教育の保障ということで、学校教育も含めてすべての市民に対する教育活動の保障をしていこうと。それが豊かな市民であり、日本国を支え、また地域を支えるということで、生涯学習という生涯教育という次元で展開されていたのは、これは教育は行政なり指導する立場で捉えれば教育ですが、学習者を主体としてこれを捉えれば生涯学習というのを、国のほうから明確に事業仕分けをされまして展開される。そうすると、今公民館で焦点を絞っていくと、その辺の事業についてどのように展開されて、そして1億数千万円の事業費の中でどう使われているか。私が今ちょっと不審に思うのは、実際の事業は報償費である程度の事業内容はわかってくると思います。それから、参加者のそれぞれの幼児から高齢者までの参加状況を見ることによって、公民館活動の、また社会教育や生涯学習の活動状況も理解することが出来ます。また、公民館は地域のセンターであり、スポーツやまちづくりのセンターとして、人が集い活動すればそれも諸活動として数字の上から出てくれば、なるほどこういう事業も公民館はやっておられるかと、新市のまちづくりにもこういう寄与しておるとというのが数字の上で出てくるわけですが、今説明を受けました公民館を一事例として考えると、そういうものが出てきていないので、私の頭ではちょっと理解することが出来ない。当然こういったことについては、社会教育委員会議というのがある、それぞれの独人性の委員たちが専門的は分野で指導・助言、または関わりを事業に持ちながらそれぞれの地域でやっておられる。また公民館の運営審議会もそのような活動をしておるということが、いま少しこの事業報告で見えるといいがなと思ったから、質問したわけです。以上です。

副委員長（高木法生君） はい、佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） ただ今の河本議員の答えになるかどうか分かりませんが、答えさせていただきます。言われるように生涯学習と社会教育の関係、あるいは生涯教育と生涯学習の関係というのは河本委員のご指摘のように、これが始まった当初は生涯教育と言っておりました。それについては河本議員はご承知のことと思います。いわゆる教育があるから、教育と言うのはある意味教える方が教育でございます、教わる方は学習でございます。つまり生涯教育と言っていた時代においては、いわゆる生涯教育と言ういろいろな分野の教養とか文化とか、そういうものを教えてあげようというのが、生涯教育の時代であったことは、

河本委員さんご承知のことと思います。確か平成18年だったと思いますが、教育基本法が大改正になりまして、ここで改めて生涯学習という言葉が出てまいりました。これはどういう事かと言いますと、いわゆる自立した国民を育てることが国においては大事な事だということで、自立、いわゆる自ら学ぶ、これが生涯学習ですよということで、平成18年だったと思いますが、教育基本法が大改正になりました。それ以降、生涯学習、生涯学習というふうに言っております。また、社会教育とは何なのかというのは、これは教育基本法の中でありまして、いわゆる学校の教育以外の教育がいわゆるすべて社会教育というようなくくりをされておるのは、河本委員さんご承知のことと思います。そういうことで、生涯教育の成果を見せるということは、非常に意味難しいものがございます。学校教育であれば、例えばこの答案に対してこれだけの答えがあったとか、あるいはこういう活動に対してこんだけの参加者があったというのは非常に計りやすいのですが、生涯教育におきましては、いわゆるこうやったらどうですかという働きかけは、公民館を通じてやっておりますが、これに対してそれに答える人々がどういう反応をして、あるいはどういう思いでいるかというのを把握するのはなかなか難しいものがございます。そういうことで、非常に成果として皆様の前にお示しするのは、非常に難しいことでもあります。そこで、今年公民館長を集めたときに、私は公民館長のほうに言ったのは、いわゆる税金を使っている限りにおいては、やはり市民の人にこれだけの成果があったよというのは見せなければいけませんよということで、成果を数値化しなさいと、何でもいいから数値化しなさいと。参加者が昨年からこれだけ増えたとか、あるいはこんだけこれがこうなったというその数値に示しなさいということを示した。どういうふうな数値が公民館から年度末に上がってくるのか、非常に興味深いものがあるわけですが、そういうことでできるだけ皆様にある程度社会教育の成果というものが目に見えるような形にしたいと考えておりますし、また河本委員さんのご指摘のような危惧も私も抱えておりまして、何とか美祢市をです、生涯学習、いわゆる自ら学ぶ市民があふれることを願って、今後も公民館を中心に社会教育を進めていく所存でございます。以上です。

副委員長（高木法生君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 今の成果をまとめることは難しい。主観的な面についてはこれは難しいと思います。しかし客観的にひとつの講座数はどこその公民館は何講座ある、またはスポーツの集いは何事業ある、それに対して地域住民がいくら参加

されたか、その参加されたのを幼児から高齢者まで見ると、幼児学級というのもある、母親学級というのもある、高齢者教室というのもある。そういうのをトータルすると地域住民が社会教育や生涯学習にどう関心を持ち参加しておるか、関わっておるか、そういうものは数字の面で出てくると思う。そういうものが事業成果として一応形の上で出てくれば、私は大変努力されておられる様子がわかるけれども、実際はやっておられると思います。そういうものを今後はきちっと出して、議会にも説明をしていただきたい。こういう要望です。以上。

副委員長（高木法生君） 佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 全くおおせのとおりです。何度も申しますように、大切な市税を使った事業でございます。皆様のほうにお示しできるようにと考えております。ただ今言われた部分の一部分については、確か去年の12月議会だったか定かではありませんが、実は昨年度美祢市教育委員会においては事務事業の評価を行っておりまして、全部を網羅したわけではありませんが、ある程度数値化して、参加者がこうだった、あるいは講座がこうだったというのは、あの議会の報告の中で若干させていただいたというふうな記憶がございます。まあ今後ともそういうことでできるだけ皆さんに開かれた社会教育、あるいはわかっていただけの社会教育を目指していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

副委員長（高木法生君） ほかに質疑はございませんか。はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） ただ今の執行部の説明を聞いて、若干21年度の予算執行実績報告書53ページの報告内容を鑑みながら、社会教育のあり方、取組み、非常に残念ながら美祢市においては貧しい、貧困な社会教育の取組みであり、生涯学習運動の実態ではないかなと、ふと疑問に思ったんです。なぜ疑問に思ったかと言えば、その取組みのソフト面で地域の方々がどう参加され、どうした取組みを実際に学習内容も含めてですね享受しているのか、そうした点では説明の中では詳しくは出てきませんでした。少なくとも秋芳地域なんです。秋芳地域の公民館のそれぞれハードの面で、ふと気がついたのは53ページの公民館費の9番、11番、12番、13番、15番、18番。これ施設のエアコンにかかる場所なんです。で、去年の9月議会で私触れたんですが、秋吉の公民館の空調がいかれてしもうちよって、夏に行事をやったところの参加した方々から、大変な苦情が出ているということで、とりわけ地域の学習、教育も含めながら、いろんな参加をする拠点になっている。そうした役割を長年果たしてきた。しかしながら、この暑い時期にエアコン

が壊れているということ把握しながら放置している。これを何とか改善をという意見も述べたんですが、ここの予算執行の実績を見ますと、別府、秋吉、岩永、それぞれの公民館のエアコンの取付工事が行われています。しかしながら、特に秋吉の公民館は、施設全体の集中管理方式がとられていたんですね。で、それをおそらく13番目の公民館地下タンク除去、埋め戻し工事ということで、約120万使ってタンクを埋めたということでしょうが、そうするとですね、より少ないエアコンの取付工事が2基で約100万と。この100万円の予算で、あの公民館全体の、今年夏はとりわけ日本全国暑くて、秋芳の地区もこの美祢市の地区も美東の地区も変わらないだろうと思うんですが、あの暑さに耐えられるだけの冷房機の、それから夏が極端に暑ければ、冬はもっと寒いとか言われています。で、こうしたより一層の地域の拠点としての役割を果たす公民館の、それを守っていくための空調、冷暖房機能ですね、これがこの二つの予算だけで十分にこの暑い夏を乗り切って、そこを利用された方々から大変よかったという声が、たくさん寄せられていると思われませんか。まあ私が聞いているのと、その辺がどの程度相違があるか、率直に、まあ予算の関係がありますから、誰がいいとか誰が悪いとかこういう問題じゃないですね。予算の話しますと、先日の一般質問でやりましたように、国・県の関わり合いがあって、美祢市の単独予算は3割程度しかない。こういう厳しい現実の中でおそらく対応されていますから。しかしながら地域の学習活動に関わらず、あらゆるお年寄りから子供たちも含めて、地域の活動の拠点になっていくわけです。それを守っていくために、執行した予算でこれで十分であった。しつこいですね、私の質問。そうした声も含めてですね、実態がどうであるかという点をお聞きしておきたいと思います。

副委員長（高木法生君） 佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 只今の南口委員のご質問でございますが、確かにご指摘のように先程説明すれば良かったんですが、秋吉公民館の地下タンクの除去・埋め戻し工事というのは、従来秋吉公民館は集中管理方式の冷暖房でございまして、これが古くなって最近では作るより捨てるほうがお金がかかるという時代でございまして、これのタンクの除去とか埋め戻し工事に多額の費用がかかったことは事実でございます。現在これまでの集中管理方式からいわゆる個別の空調方式に変えたのがこの11、12番のそれぞれの会議室、あるいは和室のエアコンというふうになっております。ちなみにこれに関して空調が利きが良いとか悪い

とかいう大変申し訳ないんですが、私のほうにそういう報告が上がっておりませんので、その声がどうだったのかというのは、誠に言いにくいんですが、一応そういう話は所長のほうからは伺っておりません。以上です。

副委員長（高木法生君） よろしいですか。ほかにございますか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） お尋ねします。就学援助の件ですが、以前にも述べましたけど、小学校・中学校の就学援助の対象でめがねを項目に入れていただきたいと思います。それと中学校においては子どもたちが部活の費用がなくて帰宅するのもかわいそうです。市長さんは夢、希望のあるまちづくりといわれました。この二つについて援助の対象にしていきたいと思いますと思いますが、どのようにお考えかお尋ねします。それともう1件ですが、市民講座が開かれるページ54なんですけど市民大学講座が開かれるんですが、美東や秋芳は行かれないね言うのでそんな愚痴を言ったら、厚保のほうの方もそうよ行かれんとか言われて、足がなかったらこんな行事がいくら良い行事があっても講座があっても行かれないねと言うことなんで順番にさせていただくか9人乗りぐらいのミニバスでも良いから回していただきたいと思います。何か周辺部でなにかいつも美祿市の中心ばかりがなんか中心になって、美東・秋芳は周辺部よねという気持ちが美東・秋芳だけではなくて美祿の周辺もあつたのでびっくりしたんですが。やはり美東・秋芳だけの問題じゃないなと思いましたので、こういった面でも足の確保か、会場の順番制かを考えていただけますかどうかお尋ねします。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） 三好委員のご質問にお答えします。就学援助のことにつきましては前回も一応お答えしたところでございますけれども、今のところはですね特に今の範囲を広げると言うことは考えておりませんが、今の就学援助については、国が見直しをしているという話を聞いております。正式な通知等は来ておりませんが、そういうこともありますので、これ認定基準に関することだと思っておりますが、このあたりはまたですねそういう通知等を参考にしながら認定基準、それから内容については、その時にはまた考えて行きたいと言うふうには思っております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 三好委員のご質問にお答えさせていただきます。

きます。ご指摘の市民大学講座についてでございます。ご指摘のように市民大学講座はいわゆるある程度お金のかかるというか、有名なというか著名な方でないとなかなか市民が集まりにくいという部分が近年ございまして、そうするとどうしてもある程度一発勝負の部分がございます。一発勝負でやったときにいわゆるせめて600人とか700人が入っていただかないと、これだけのお金を掛けて前に五、六十人がちょろちょろでは格好になりませんので、そういうことで市民大学講座は基本的に市民会館のほうで開催させて頂いております。これに変わると言ったら何なんですけど、先程申しましたように生涯学習は自ら学ぶ市民を育てるのが大きな基本でございます。そのための手助けとして二、三年前から山口県立大学がサテライト講座というのを開いております。これは山口県立大学の出前講座でございまして、昨年も開きましたし、今年は7月から日本文学の旅ということで6回ですか、1,500円出せば6回ほど受けられるということで、それこそ三、四十人の規模のところで開催し、残念ながら豊田前のほうには行けませんでしたけど、美東とか秋芳、あるいは美祢市の勤労青少年ホームのほうで開催させて頂いて大変好評を得ております。参加者の内訳ですが、詳しいことは私の頭の中に入っておりませんが、およそ申しますと参加者の9割は美祢市この大嶺のこの近辺、あるいは伊佐のこの近辺の方でございまして、言われるように豊田前とか、厚保とか、あるいは美東・秋芳の方は少なかったように記憶しております。そういうことで今後もですね、こういう一発勝負の市民大学講座とあるいは小規模のですねサテライト講座的なものを組み合わせながら、よりよく市民の方に生涯学習のほうに進んでいけたらというふうに社会教育課としては考えております。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 就学援助ですけど美祢市独自の項目を作るというわけにはいかないんでしょうか。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） いろんな予算のこともございますので、先程申しましたように、また国からの何らかの基準等が出たときにはですね、またそれを基にですね美祢市のほうも考えて行かなければいけないかなというふうには考えております。以上です。

副委員長（高木法生君） よろしいですか。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 先に三好委員に超されましたんで、簡単な質問いたします。

教えて下さい。51ページの一番下の小学校費の就学援助事業、52ページの一番上の同じく特別支援教育、それから中学校費の教育振興費の4の就学援助事業、5の就学援助事業（特別支援教育）、これは要保護、準用保護の関係と思うんですが、それが特別何とかというのなんなんですか。特別支援教育は。

副委員長（高木法生君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） 就学援助のほうは今までご説明しておりますが、特別支援教育に関わる就学援助については、これは特別支援学級に就学している児童の保護者の経済的負担をできるだけ援助するというためのもので、特別支援学級に入っている子どもたちのためのものがございます。これは認定の基準がですね、普通の就学援助とは違っておまして、これは国の基準がございます。かなり基準が緩やかでございます、ほとんどこの場合は認定されるということになります。よろしいでしょうか。

副委員長（高木法生君） よろしいですか。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（高木法生君） 質疑なしと認め質疑を終わります。少し長くなって申し訳ございませんけれども委員会を続行したいと思います。

次に災害復旧費を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、秋枝農林課長。

建設経済部農林課長（秋枝秀稔君） 56ページの災害復旧費でございます。農林施設災害復旧費につきましては、単独災害復旧費と補助災害復旧費がございます。補助災害復旧にかからない部分が単独災害ということで単市の復旧になります。まず最初に単独災害復旧費でございますが、現年災害復旧費としまして7,059万2,000円ということになっております。下に書いてありますが、上の段災害復旧工事につきましては、林業関係でございます。下の段少額災害復旧工事補助金につきましては、農業小規模災害ということになっております。169件でございます。続きまして、補助災害復旧費でございますが、現年災害復旧費としまして、農地が76件、農業用施設が69件、計145件の災害復旧としまして1億4,159万3,000円の予算でございました。続きまして歳入歳出決算書のほうをお願いいたします。128、129ページをお願いいたします。11款災害復旧費の1項農林災害復旧費でございます。単独災害復旧費、それから補助災害復旧費につきまして、委託料に単独のほうで152万3,800円、補助災害復旧費のほうで4

72万5,060円の不用額が生じております。これ両方とも災害の測量設計につきまして、入札減が起こったというこういうところございまして残りました。次のページ130と131ページでございます。15の工事請負費につきまして、予算額2億4,200万円の予算額につきまして、不用額506万2,100円というふうになっております。これは災害復旧の工事の入札減ということでございます。以上でございます。

副委員長（高木法生君） はい、矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） それでは予算執行実績報告書の56ページの中程ですけど土木施設災害復旧費といたしまして、補助対象とならない単独災害復旧費といたしまして、現年発生災害復旧事業で6,618万5,000円、道路が33件、河川が19件でございます。その下でございます。補助災害復旧費でございますが、現年発生災害復旧事業といたしまして1億209万円でございます。道路27件、河川23件でございます。以上です。

副委員長（高木法生君） 佐藤社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（佐藤和美君） 続きまして、項教育施設災害復旧費・目単独災害復旧費でございます。綾木農村公園法面災害復旧工事でございます。これは昨年の7月の豪雨によりまして、綾木のふるさとセンターのところに農村公園がございまして、児童あるいは老人が憩えるような場所がございまして、この農村の公園の法面が崩壊いたしまして、隣接する国道に流出して大きな周辺に被害を与えたところでございます。これの復旧のために今年2月9日から26日の間復旧工事を行いました。一応現場を通られたり解ると思いますが、自然に優しいコンクリートを使わない、いわゆる防草混合土という新しい工法を使ってやらせて頂いております。工事費が66万1,500円でございます。以上です。

副委員長（高木法生君） 石田教育委員会事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 続きまして、目補助災害復旧費でございます。淳美小学校土地災害復旧工事としまして131万3,000円の支払いをしております。昨年の豪雨災害のために、淳美小学校内2箇所の法面の崩落が起きたのでそれを復旧するための工事でございます。

副委員長（高木法生君） 佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 続きまして、項のその他公共施設災害復旧費でございます。目は単独災害復旧費でございます。現年発生災害復旧事業と

して、(1)リサイクルセンター進入路災害復旧工事として47万3,000円を支出しております。以上でございます。

副委員長(高木法生君) 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長(矢田部繁範君) その下でございますけど、さくら公園土砂取除工事といたしまして24万2,000円を支出いたしました。一番下でございますけど、桜山総合公園中継ポンプ室制御盤が落雷により被災を受けまして盤が壊れましたので、その取替工事といたしまして46万2,000円を支出いたしました。以上でございます。

副委員長(高木法生君) 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長(高木法生君) 質疑なしと認め質疑を終わります。それではそのほか款4衛生費から款12公債費まで、また関連する歳入につきまして決算書等含めまして質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長(高木法生君) 質疑なしと認め質疑を終わります。以上で議案第17号平成21年度美祢市一般会計決算の認定についての説明、質疑までを終了いたしました。なお、討論・採決につきましては、明日の総括審議終了後に行いますのでよろしくお願いいたします。それではその他委員の皆さんから何かございましたらご発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長(高木法生君) ないようでございますので、本日の審査を終了いたします。なお、明日は全特別会計決算につきまして審査をいたします。それでは、明日9月30日、午前9時30分より当委員会を開催いたしますのでよろしくお願いいたします。本日はこれにて散会いたします。

ご審査・ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午後3時44分散会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成22年9月29日

決算審査特別委員会

委員長 徳島 仁 京司

副委員長 高木 法 生